

平成30年度事業報告



社会福祉
法人

長野市社会福祉協議会

目次

I 実施事業と重点目標に対する評価		
事業理念1		
住民参加・協働による福祉を基盤としたまちづくり	1	
事業理念2		
その人らしい生き方や暮らしを尊重した支援の実施	13	
事業理念3		
状況に応じた柔軟で迅速な取組の実施	21	
経営理念1		
地域住民に分かりやすい機能的な組織体制の確立	23	
経営理念2		
健全な財政運営の実現	25	
<table border="1" data-bbox="271 1149 461 1205"><tr><td>付属明細書</td></tr></table>	付属明細書	
付属明細書		
II 経営理念に関する別掲資料	27	
III 事業実績（資料）	34	

I 実施事業と重点目標に対する評価

事業理念1 住民参加・協働による福祉を基盤としたまちづくり

運営方針ア 住民参加・協働の中心の場であり、小地域福祉活動推進の基礎組織となっている住民自治協議会が、

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
基本施策 1-ア-01 住民自治協議会との協働関係の構築 基本施策 1-ア-02 住民自治協議会への支援 基本施策 1-ア-03 地域福祉ワーカーへの支援	○介護保険法の地域支援事業を踏まえ、小地域における住民主体の福祉活動を推進するため、地区担当職員を中心に、地区訪問等を実施し、住民自治協議会への支援を強化します。	○住民自治協議会との連携体制をより強固なものにするため、地区担当制により、積極的に福祉関係部会の定例会新たな取組である介護予防・生活支援検討会へ参加するなど、継続的に支援を行います。[地区担当制による職員派遣等の支援]	1	住民自治協議会福祉関係部会関係者情報交換会の開催【地域福祉課】
			2	住民自治協議会福祉関係部会事務担当者会議の開催【地域福祉課】
			3	地区担当制による職員派遣等の支援【地域福祉課】
			4	福祉のまちづくりを進めるための実践事業【地域福祉課】
			5	地区地域福祉活動計画の見直し及び進捗管理の支援【地域福祉課】
			6	住民福祉活動事例集の作成【地域福祉課】
			7	地域福祉ワーカーへの支援【地域福祉課】
			8	生活改善運動推進事業【総務課】
			9	社会を明るくする運動推進事業【総務課】
			10	災害見舞金事業【総務課】

協議・実践する機能を発揮することができるよう支援するとともに、協働によるまちづくりを実践します。

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
住民自治協議会の役員を対象に、組織体制や活動に対して情報交換を行う。	[実績] ○第1回 8月3日(金) 14:00～16:00、参加者49人 ○第2回 2月7日(木) 14:00～16:00、参加者45人	○住民自治協議会への支援により、新しい総合事業に対する住民自治協議会の福祉関係部会や地域福祉ワーカーの理解が深まった。 既存の事業に介護予防の視点を盛り込んだ取り組みや、生活支援体制整備として検討会が設置されるなど、住民主体の福祉活動が起きてきている。
住民自治協議会活動の事務を担当する職員を対象に、各種事務手続き等に関して説明を行う。	[実績] ○日時 4月26日(木) 14:00～16:00 ○会場 ふれあい福祉センター ○参加者数 46人	
地域福祉推進担当の職員の担当する地区を決め、その職員が住民自治協議会の役員会等の各種会議や事業の企画・立案等の相談に継続的に応じる。	[実績] ○職員派遣回数 184回(H29 144回) 内訳:活動計画策定・進行管理45回(H29 7回) 地区訪問10回(H29 24回) その他129回(H29 77回)	
住民自治協議会が行う福祉活動(福祉移送、サロン、子育て支援等)に対して、経費の助成を行う。	各地区の実情に応じた取り組みに対して助成を行った。 [実績] ○交付決定額 20,024千円(H29 19,863千円) (別表1)P34	
住民自治協議会が策定した「地区地域福祉活動計画」の見直しや評価にあたり、会議の進行や企画等のサポートを行う。	各地区の状況に基づき、計画見直し及び進捗管理等のサポートを行った。 [実績] 4地区 45回(H29 2地区 8回) ○第二地区(5回)、柳原地区(8回)、大豆島地区(23回)、川中島地区(9回)	
各地区の福祉推進員活動の事例をまとめた冊子を作成し、配布する。	事業No.17長野市地域福祉推進セミナー開催事業に併せ、各地区から福祉推進員の活動紹介用紙を集約し、セミナー会場で展示を行うとともに、データ化したものを各地区へ配布した。 [実績] ○活動用紙提出地区 25地区(H29 25地区)	
地域福祉を推進する担い手として各地区に配置されている地域福祉ワーカーの活動への助言など支援を行う。	市福祉政策課主催の地域福祉ワーカー連絡調整会議に出席し、地域福祉ワーカーの活動に対する助言等を行った。 第1回5月24日、第2回7月26日、第3回10月3日、第4回11月30日、第5回1月25日、第6回2月22日 市地域包括ケア推進課主催の生活支援コーディネーター業務研修、自主学習会に出席し、生活支援コーディネーターとしての活動に対する助言等を行った。 4月27日、6月24日、10月26日	
明るく豊かなまちづくりのため、生活の合理化、簡素化運動を一つの市民運動として位置付け普及推進に取り組む。	各地区において、簡素化運動を推進するため、住民集会を開催した。 [実績] ○8地区 補助金交付額198,025円 (H29 9地区 196,223円)	
すべての国民が犯罪・非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪の無い明るい社会を築こうとする運動。	第68回社会を明るくする運動を推進した。 [実績] ○23地区 補助金交付額391,489円 (H30 25地区 400,303円) ○強調月間:7月、駅前街頭広報活動 7月1日 (別表2)P34	
災害による住宅罹災・死亡及び事故による死亡に対して、長野県共同募金会、日本赤十字社長野県支部および当会の3者による見舞金品の給付を行う。	[見舞金給付実績] ○住宅罹災 18件 480千円 ○事故死 12件 120千円 計30件 600千円 (H29 17件 410千円) ※県共同募金会及び日赤長野県支部と併せて給付 (別表3)P36	

運営方針イ 地域福祉活動の担い手の支援を行うとともに、関係者の連携を図ることで、地域の特性を活かした総合

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
<p>基本施策 1-イ-01 住民参加の支え合い活動の推進</p> <p>基本施策 1-イ-02 福祉ネットワーク構築の推進</p> <p>基本施策 1-イ-03 民生・児童委員活動への支援</p> <p>基本施策 1-イ-04 福祉推進員活動への支援</p> <p>基本施策 1-イ-05 福祉意識を高めるための機会の創出</p>	<p>○住民一人ひとりの豊かな福祉観を醸成することで地域における福祉意識を高め、地域課題に対応した取り組みが充実するよう担い手づくりや関係者とのネットワーク構築を図ります。</p> <p>○地域を取り巻く福祉の諸問題について考え、福祉に対する意識を高める機会をつくります。</p>	<p>○住民自治協議会と連携し、地域たすけあい事業を継続的に実施するとともに、地域課題に対応した取組が充実するよう担い手づくりなどの具体的な取組を行います。 [地域たすけあい事業]</p> <p>○関係者の連携を深めるため、地区のネットワーク会議へ積極的に参加します。</p> <p>○民生・児童委員や福祉推進員等への支援を行うとともに、積極的に関係者とのネットワーク構築を図ります。[福祉推進員研修事業(全市・地区別)、[長野市地域福祉推進セミナーの開催]</p> <p>○継続して取り組んでいる孤立防止活動や新しい総合事業の展開を踏まえ、地域の福祉関係者への働きかけを実施します。[孤立防止活動の推進]</p>	<p>11</p> <p>12</p> <p>13</p> <p>14</p> <p>15</p> <p>16</p> <p>17</p> <p>18</p> <p>19</p>	<p>地域たすけあい事業 【地域福祉課】</p> <p>配食サービス受託事業 【地域福祉課】</p> <p>信州暮らしの支え合いネットワーク事業への協力・参加 【地域福祉課】</p> <p>福祉推進員研修事業(全市・地区別) 【地域福祉課】</p> <p>福祉推進員の手引き・事例集の作成 【地域福祉課】</p> <p>長野市地域福祉推進セミナーの開催 【地域福祉課】</p> <p>孤立防止活動の推進 【地域福祉課】</p> <p>長野市社会福祉大会の開催 【総務課】</p> <p>長野市民生委員児童委員協議会への支援(事務受託)【総務課】</p>

的な支援体制を構築します。

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
<p>高齢者、障害者等に対して、地域住民の協力を得て有償による家事援助及び福祉移送サービスを行う行う事業。住民自治協議会との協働により実施する。</p>	<p>市内31地区(25事業所)で実施した。(長野市地域包括ケア推進課からの補助金) 〔実績〕 ○実施件数 40,690件(H29 40,778件) 内訳:家事援助 4,383件(H29 3,718件) 福祉移送 36,307件(H29 37,060件) (別表4)P36</p>	<p>○協力会員の不足や、高齢協力会員の増加が各地区が抱える課題となっている。特に福祉移送については、高齢ドライバーによる交通事故が社会問題となってきたこともあり、地区独自の交通安全研修のほか、市社協においても実践的な安全運転研修を継続している。</p>
<p>食事づくりが困難な高齢者や障害者への昼食の配食を行う。長野市からの受託事業。</p>	<p>配食サービスを利用する方の希望に応じて、週一回や隔日などで昼食の配達を行った。 〔実績〕 ○鬼無里地区 1,139食 延べ127人(H29 1,560食、延べ141人)</p>	
<p>県内の住民参加型有償在宅福祉サービスを行っている団体により組織されている連合会(長野県社会福祉協議会が事務局)への協力・参加する。</p>	<p>〔実績〕 ○平成30年度全体会及び、「お互いさまの地域づくりを考えるつどい(トークセッション)」に参加 9月26日(水) 会場:長野県社会福祉総合センター 職員3人参加</p>	
<p>住民自治協議会が設置する福祉推進員を対象に、福祉推進員の役割等の基礎的事項について、住民自治協議会を単位及び各地区の福祉推進員活動の事例を学ぶなどの全体研修会を行う。</p>	<p>〔実績〕 ○福祉推進員を対象とした研修会 12回(H29 20回) ○全体研修 長野市地域福祉推進セミナー開催事業に併せて実施した。</p>	<p>○地区で開催される福祉推進員研修会等へ積極的に出席するとともに各事業を実施することにより、担い手づくりや関係者とのネットワーク構築を図った。</p>
<p>福祉推進員の役割等の基礎的事項をまとめた手引きを作成し、福祉推進員に配布する。</p>	<p>「福祉推進員活動の手引きー地域で福祉活動に取り組もうー」を作成・配布した。 〔実績〕 ○作成・配布部数 2,000部(H29 2,000部)</p>	<p>○研修や大会等を重ねたことにより、住民の福祉に対する理解が深まり、事業の協力者も増えつつある。</p>
<p>長野市地域福祉計画に基づき、市民、福祉関係機関、行政等が一同に会し、地域福祉の推進に関する事柄について学び、意見交換を行う。</p>	<p>〔実績〕 ○日 時 6月20日(水)13:30～16:30 ○会 場 長野市若里文化ホール ○参加者数 約340人 ○内 容 ①事例発表(市内5団体) ②パネルディスカッション 「支え合う暮らしの大切さを学ぶ ～つぶやきをはぐくむ～」</p>	
<p>孤立を見逃さない地域づくりに向け、市と協働し取り組んでいる「孤立防止・見守りネットワーク事業」を推進するとともに、地域の福祉関係者である住自協役員や民生委員・児童委員、福祉推進員等へ孤立防止に向けての意識啓発への働きかけを行う。</p>	<p>「長野市孤立予防・見守りネットワーク協議会」(市主催、7月3日開催)へ出席し協力をした。また、各地区福祉推進員研修及び地域福祉推進セミナー(6月20日開催)において、孤立防止に向けての意識啓発を行った。</p>	
<p>住民の福祉活動に関する意識向上と啓発を目指し、長野市社会福祉大会を開催する。</p>	<p>「誰もがみんな自分らしく暮らすために 支え合いの地域づくり」を大会テーマとし、第64回長野市社会福祉大会をふれあい福祉センターホールにて開催した。被表彰者を含めおよそ120人が参加した。 (別表5)P36</p>	
<p>長野市民生委員児童委員協議会の事務局を受託し、37地区(法定単位)民生委員児童委員協議会の連携・活動推進および情報交換を図るとともに関係機関・団体等との連絡調整等を行う。</p>	<p>会の事業計画及び予算に基づき、会議や行事など会の運営について、事務局として支援を行った。 (事務受託団体一覧 別表17)P46</p>	

運営方針ウ 市域・小地域における地域活動の拠点を整備し、「福祉共育(教育)」を通じて、あらゆる人がそれぞれの

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
基本施策 1-ウ-01 ボランティア・地域活動拠点の整備 基本施策 1-ウ-02 地域のつながりを活かした地縁型ボランティアの養成 基本施策 1-ウ-03 多様性のあるボランティアの養成	○身近な地域におけるボランティア活動の推進を図るため、住民自治協議会と協働し、地域で活動するボランティアの養成や講座の開催を通じ、拠点整備及び多様な居場所づくりに取り組みます。	○地区ボランティアセンターの開設・運営支援及びまちの縁側事業など地域の多様な居場所づくりを推進します。[地区のボランティア活動拠点整備への支援]	20	地区のボランティア活動拠点整備への支援【地域福祉課】
			21	ボランティアセンター運営事業【地域福祉課】
			22	老人福祉センター管理経営事業【地域福祉課】
			23	高齢者生きがいつくり事業【地域福祉課】
			24	介護予防関連事業【地域福祉課】
			25	ボランティア・地域活動の支援【地域福祉課】
26	住民自治協議会等と連携した地域課題対応ボランティアの開発・養成【地域福祉課】			
○介護保険法の改正を踏まえ、健康寿命を延ばすための取組として、これまで以上に体操等の介護予防への取組の充実を図ります。[介護予防関連事業]	○老人福祉センター等がより地域住民に活用される施設となるよう、住民自治協議会等との連携を図ります。[ボランティア・地域活動の支援]	24	介護予防関連事業【地域福祉課】	
		25	ボランティア・地域活動の支援【地域福祉課】	

個性を活かして参加できる地域づくりの支援を行います。

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
地域でのボランティア活動の拠点づくりの支援として、整備に係る経費の助成を行う。	地区ボランティアセンター開設支援 [助成件数] 0件(H29 2件) [開設累計] 16ヶ所	○住民自治協議会と協働し、地域資源の発掘等の講座を開催し、居場所づくりの取り組みに資することができた。地区ボランティアセンターについては場所の確保が困難なこと等から新たな開設には至らなかったが、今後も拠点整備に向けた支援を継続する。
ボランティアセンター事業の適正な運営を図るため、ボランティア団体及び学識経験者等の関係者をもって委員会を組織し、定例的に会議を開催する。また、利用者会議、ボランティアのつどい等を実施し、新たなネットワークづくりと活動の幅を広げる機会とする。	1 定例の運営委員会を年4回実施した。 [実施回数] 第1回 5月24日 第2回 8月24日 第3回 11月22日 第4回 2月21日 2 ボランティアのつどい ○12月1日にふれあい福祉センターで開催 ○タイトル及びテーマ 楽縁祭 みんなで手をつないで子どもを育てよう ○市民出展団体 70団体、来場者約300名 3 ボランティア活動振興事業助成金事業 ボランティア活動を振興し地域福祉の増進を図るため、ボランティア・市民活動をしているグループが実施する事業に対して1団体5万円を上限で助成を実施した [実績] 5団体 総額230,000円を助成	
高齢者の健康増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を提供することや地域における福祉活動の場を提供する。長野市からの指定管理事業。	1 指定管理制度により以下のとおり実施した。 ○三陽・安茂里・氷鉦・鬼無里・中条 (H29年度～H33年度の5年間の指定管理者) ○篠ノ井(H29年度～H30年度の2年間の指定管理者) ○信州新町福祉センター管理事業 (H28年度～H32年度の5年間の指定管理者) ※氷鉦は老人憩の家を含む 2 市からの委託により下記のとおり実施した。 ○信州新町福祉センター高齢者生きがいづくり講座 業務 (別表6)P37	
高齢者の生きがいや余暇活動の促進を図るため、老人福祉センターが各種教養講座を実施する。	[実施件数] 1,419回(H29 1,406回) (別表6)P37	
高齢者が介護が必要な状態にならないよう健康づくり等に関する講座を老人福祉センターで実施する。	介護予防関連講座を市地域包括ケア推進課と連携し、三陽・安茂里・篠ノ井・氷鉦・鬼無里・中条の各センターにて開催した。 [実施回数] 55回(H29:55回)	
老人福祉センターを地域福祉活動の拠点として、ボランティアの養成や活動の担い手づくりにつながるような講座を実施する。	ボランティアカフェやボランティア交流会、小物づくり講座など多種多様な講座や企画を開催した。 [実施回数] 1,611回(H29:1,608回) (別表6)P37	
それぞれの課題に取り組むボランティアを養成するためのボランティア養成講座を開催する。	古里地区住民自治協議会と共催でボランティア養成講座開催 [実績] 「地域の資源と繋がる！」 ○日時 6月21日(木) ○参加者 51名	

<p>○サマーチャレンジボランティアをはじめとする福祉共育の実践と住民自治協議会・公民館・学校・企業・NPO等との連携の強化を図ります。 [地域でのボランティア活動体験による担い手養成]</p>	27	地域でのボランティア活動体験による担い手の養成 【地域福祉課】
	28	福祉教育・ボランティア学習推進事業 【地域福祉課】
	29	課題別ボランティアの促進事業 【地域福祉課】
	30	ボランティアグループの登録・照会・相談・調整【地域福祉課】
<p>○相談援助体制の強化と課題解決に向けたボランティア活動のプログラム作りを行います。[課題別ボランティアの促進]、[コーディネーター力養成講座の開催]</p>	31	コーディネーター力講座の開催 【地域福祉課】

<p>より身近な地域で学ぶ場を設けることにより活動メニューの幅を広げるため、学習機会をもちたい地域に対して、講師を派遣したり、企画・運営支援を行う。</p>	<p>[実績] 14地区 延べ51回 (H29 8地区 延べ27回)</p> <p>第三地区(5回)、芹田地区(2回)、三輪地区(13回)、古里地区(7回)、浅川地区(1回)、大豆島地区(1回)、若槻地区(1回)、小田切地区(1回)、篠ノ井地区(2回)、更北地区(2回)、豊野地区(2回)、戸隠地区(1回)、鬼無里地区(6回)、中条地区(7回)</p>
<p>学校における福祉教育・ボランティア学習を推進するため、福祉教育・ボランティア学習普及校の指定(事業の助成)及び普及校の連絡会議を開催するとともに、教職員研修会を支援する。</p>	<p>1 福祉教育・ボランティア学習普及校事業説明会を開催するとともに、福祉教育のあり方を検討した。 [実績] ○普及校事業説明会 5月10日開催 ○普及校事業申請校 51校(H29 53校) 内訳:小学校33校(H29 34校)、中学校10校(H29 12校)、高校5校(H29 3校)、特別支援学校 3校(H29 4校) 助成金額 1,350千円(H29 1,350千円)</p> <p>2 福祉共育のつどい テーマ「福祉で変わる!子どものミライ」 [実績]5月10日開催。小中高教員、信州型コミュニティスクール学校支援コーディネーター、住民自治協議会、地域包括支援センター、民生委員児童委員、児童館・児童センター・子どもプラザ職員、一般住民など86名参加。</p> <p>3 福祉学習、人権学習、キャリア教育など多様な場面での支援の相談に応じるため、体験学習への支援に職員の派遣、講師派遣(同行)、受入れを行った。 [実績]支援をした学校等 24校(H29 17校)</p> <p>4 サマーチャレンジボランティア2018 [実績] ○活動期間 7月15日～8月19日 ○受入先 96施設・団体(うち参加者あり 70施設・団体) ○参加者 282名(うちボランティア初体験者 167名) ○事前研修会 7月14日開催。参加者196名。受入先関係者55施設・団体が参加 ○事後研修会 8月25日開催。参加者131名。受入先関係者15施設・団体が参加</p>
<p>課題に応じたボランティア活動や人材を育成するためのボランティア養成講座を行う。</p>	<p>○プログラム開発講座 [実績]8月1日開催。地域福祉ワーカー中心に17名参加。</p> <p>○ボランティアとコーディネーション講座 [実績]12月18日開催。地域福祉ワーカー中心に25名参加。</p> <p>○話し相手・傾聴ボランティアレベルアップ講座 [実績]3月6日開催。傾聴ボランティア活動者など20名参加。</p>
<p>ボランティアに関する様々な情報を収集整理し、情報の提供や需給調整(コーディネート)を行う。</p>	<p>ボランティア活動や、様々な相談に対応し、需給調整を行った。 [実績] ○登録数 1,319団体 82,339名(H29 1,261団体 81,150名)、個人 3,449名(H29 3,370名) ○相談件数 20,225件(H29 20,656件) (別表7、8)P38</p>
<p>地区ボランティアセンターや福祉施設、病院、企業などで活動するコーディネーターの養成や資質向上のための講座を開催する。</p>	<p>地域のニーズや課題を受け止め、地域の資源(情報・人・場所等)をつなぎ、住民の地域での生活を支える仕組みや活動を作り出し進めるといったコーディネーター役になる人材養成を目的に開催した。 [実績] 10講座 延べ798名(H29 10講座 延べ583名) (別表9)P39</p>

<p>○放課後において、児童に安全で安心な居場所を提供するため、多様な体験活動等を行い、児童の自主性や、社会性及び創造性の向上を図り、健全な育成支援を行います。</p>	<p>○情報発信活動を強化し、ボランティア活動及びボランティアセンターの広報と普及を図ります。 [ボランティア情報の受発信]</p>	32	ボランティア情報の発信 【地域福祉課】
	<p>○児童館・児童センター及び子どもプラザの希望児童の受け入れや、増加傾向にある特別な配慮を要する児童の受け入れに伴う職員の雇用と活動拠点の確保に努めます。[児童館・児童センター・放課後子どもプラザの管理経営事業]</p>	33	児童館・児童センター・放課後子どもプラザの管理経営事業 【総務課】
		34	ふれあい福祉センター管理経営事業 【総務課】

運営方針エ 寄附や社会貢献等の多様な住民参加の仕組みをつくります。

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
<p>基本施策 1-エ-01 寄附文化の醸成</p> <p>基本施策 1-エ-02 社会貢献・社会参加の推進</p>	<p>○日赤活動資金や共同募金の趣旨について、住民をはじめ地域の関係者の共感と理解を得ることで、更なる取組の強化を進めます。</p>		35	寄附・賛助会費の募集 【総務課】
			36	社会福祉功労者等の顕彰 【総務課】
		<p>○長野市共同募金委員会において取組の趣旨を共有し、市内各地区における募金活動の強化を図ります。[共同募金運動協力事業]</p>	37	共同募金運動協力事業 【総務課】

<p>情報紙「ボランティアかわらばん」、ホームページ「ボランティアネットながの」、まちの放送局、街中掲示板等を通じて、市内外へボランティア情報を発信する。</p>	<p>編集・発送及び掲示などボランティアの協力を得ながら事業を行った。 〔実績〕 ○「ボランティアかわらばん」は毎月1回(1,2月は合併号)6,350部発行。 ○街中掲示板を地区ボランティアセンター、老人福祉センター、協力企業等市内31か所に設置。</p>	
<p>長野市から指定管理者の指定および委託を受け、児童の健全育成を図るとともに就労家庭を支援する児童館等の管理経営を行う。</p>	<p>児童館・児童センター36館と、子どもプラザ46施設の管理を受託し、児童が安全・安心に過ごせる場所の確保等を行い、利用者のニーズに応えることができた。 (別表10)P40 利用を希望する特別な配慮を要する児童は、全て受け入れ対応している。 加配児童数 145人(H29 140人)</p>	<p>○多様な体験活動や自主性、社会性、創造性の向上を図るため、保育材料の充実や研修会の充実を図り、育成支援を行うことができた。 ○特別な配慮を要する児童の受け入れ対応に伴う職員の確保については、支援の必要時間配分に対する人員確保が厳しく、現員体制で勤務時間を増やし対応している。</p>
<p>長野市から指定管理者の指定を受け、地域福祉・ボランティア活動の拠点としてふれあい福祉センターの管理経営を行う。</p>	<p>市民の福祉活動の拠点として、またボランティア活動の中核施設として数多くの団体に利用をいただいた。 〔実績〕 延べ利用件数 4,525件(H29 4,501件) 延べ利用人数 91,075人(H29 87,594人) (別表11)P42</p>	

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
<p>個人・団体等からの寄附金品の募集、受け入れ手続き等を行う。用途指定・不指定を問わない。</p>	<p>1 賛助会員の募集 本会広報紙等により賛助会員の募集を行った。 〔実績〕 H30年度入会者 2人 退会者 0人 会員数 4人、賛助会費額 年間35,000円 2 寄附金品受入状況 〔H30年度実績〕 ○寄附件数 29件 総額 58,602,490円 (H29 32件 7,706,874円) 内訳:現金寄附 58,260,490円 物品寄附換算額 342,000円 ○寄附の使途別内訳 ボランティア活動振興基金の元金へ 5,000,000円 使途不特定 700,028円 介護者リフレッシュへ 1,500,000円 介護サービスへ 51,112,462円 ボランティアセンターへ 180,000円 老人福祉センターへ 110,000円 (賛助会員・寄附者名簿 別表12)P43</p>	
<p>長野市社会福祉大会において、社会福祉に功労があった個人・団体を表彰する。</p>	<p>8月29日に開催した長野市社会福祉大会において表彰を行った。 〔実績〕 ○社会福祉功労者 14人 (H29 29人) ○優良住民自治協議会等 2団体 (H29 2団体) ○社会福祉事業協助者 14件 (H29 22件) (別表5)P36</p>	
<p>社会福祉法に基づき長野県共同募金会が実施する寄附金の募集において、長野県共同募金会長長野市共同募金委員会の事務局として事業に協力する。</p>	<p>〔実績〕 ○H30年度実績額55,621,989円 目標額 57,990,000円 達成率 95.91% 【参考】H29年度実績額 56,474,349円から減少 ○募金運動期間:10～12月 (別表13)P45</p>	<p>○地域福祉担当が地区支援を行う際に、地区の福祉関係事業に共同募金が配分されている旨を周知し、取組への協力・理解に繋がった。</p>

			38	共同募金配分金事業 【総務課】
		○日赤長野市地区において、地域への広報啓発活動を強化し、活動資金への協力を広く呼びかけます。[日赤活動資金募集事業]	39	日赤活動資金募集事業 【総務課】
			40	長野市遺族会への支援(事務受託) 【総務課】
			41	長野市手をつなぐ育成会への支援(事務受託) 【総務課】
			42	長野市赤十字奉仕団への支援(事務受託)【総務課】
			43	長野地区保護司会への支援(事務受託) 【総務課】
			44	長野地区更生保護女性会への支援(事務受託)【総務課】

運営方針オ 長野市地域福祉計画に基づき、本会と長野市との役割及び責任を明らかにする中で一体的にまちづく

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
基本施策 1-オ-01 長野市地域福祉計画の推進	○第三次長野市地域福祉計画を着実に推進するよう、長野市福祉政策課と連携した取組を図ります。	○第三次長野市地域福祉計画を着実に推進するよう、長野市福祉政策課と連携するとともに、地域福祉計画推進委員会の運営に協力します。[長野市地域福祉計画推進委員会への協力等]	45	長野市地域福祉計画推進委員会への協力 【地域福祉課】
			46	長野市社会福祉審議会地域福祉専門分科会への参加【地域福祉課】
			47	長野市地域福祉計画庁内推進会議への参加 【地域福祉課】

長野県共同募金会より配分された配分金を活用した事業を行う。	配分金を活用した事業は概ね実施された。共同募金を原資として市社協が実施する事業費に対し、配分額が不足してきており、ふれあい福祉基金を取り崩して充当。配分金の約75%が各種助成事業となっている。 〔配分額及び内訳〕 ○H30年度配分額(29年度募金)30,991,349円 内訳:社協 23,948,936円 住自協(目標超過分)7,042,413円 (別表14、15)P45	○日本赤十字社の活動報告用広報誌『赤十字REPORTながの』を自治会関係者や関係機関に配布し、30年度の実績報告とともに日赤活動への理解と協力を呼びかけた。
日本赤十字社法に基づき設置された日本赤十字社の長野県支部長野市地区の事務局として、支援者募集及び活動資金収納を行う。	活動資金募集実績は前年に比べ減少し、目標に達しなかった。 〔実績〕 ○H30年度活動資金募集実績 49,842,608円 目標額 57,546,000円 達成率 86.61% 【参考】平成29年度実績 56,922,000円 ○強調月間:5月 (別表16)P45	
長野市遺族会の事務局を受託し、会への支援を行う。	会の事業計画及び予算に基づき、会議や行事など会の運営について、事務局として支援を行った。 (事務受託団体一覧 別表17)P46	
長野市手をつなぐ育成会の事務局を受託し、会への支援を行う。	会の事業計画及び予算に基づき、会議や行事など会の運営について、事務局として支援を行った。 (事務受託団体一覧 別表17)P46	
長野市赤十字奉仕団の事務局を受託し、会への支援を行う。	会の事業計画及び予算に基づき、会議や行事など会の運営について、事務局として支援を行った。 (事務受託団体一覧 別表17)P46	
長野地区保護司会の事務局を受託し、会への支援を行う。	会の事業計画及び予算に基づき、会議や行事など会の運営について、事務局として支援を行った。 (事務受託団体一覧 別表17)P46	
長野地区更生保護女性会の事務局を受託し、会への支援を行う。	会の事業計画及び予算に基づき、会議や行事など会の運営について、事務局として支援を行った。 (事務受託団体一覧 別表17)P46	

りを進めます。

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
第三次長野市地域福祉計画の進捗管理や評価を行う長野市地域福祉計画推進委員会に職員が出席したり、必要な事務等に協力する。	3月25日(月) 午前10時 ふれあい福祉センター4階 会議室3 長野市福祉政策課が事務局となるが、社協からも主幹・係長が事務局の立場で出席	○職員の地区担当制をとることにより、長野市地域福祉計画に沿って策定された各地区地域福祉活動計画の進行管理の実施に協力し、計画の着実な推進を図った。
長野市の地域福祉施策のあり方について市民の意見や有識者等からの専門的な知識を反映させるため、長野市が設置している審議会へ参加する。	2月12日(火) 午後1時30分 長野市役所第二庁舎10階 会議室203 長野市福祉政策課が事務局となるが、社協からも課長・主幹・係長が事務局の立場で出席	
長野市地域福祉計画の進行管理・評価を行うため、長野市が市民・福祉関係機関等により組織した委員会への出席や、事務局的作用を担う。	長野市が実施する長野市地域福祉計画庁内推進会議については、今年度は開催されなかった。	

事業理念2 その人らしい生き方や暮らしを尊重した支援の実施

運営方針ア 介護保険法及び障害者総合支援法等に基づき、利用者が住み慣れた地域で暮らし続けることができる

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
<p>基本施策 2-ア-01 多様な利用者のニーズを受けとめ、ニーズにあったサービスを提供できる組織づくり</p> <p>基本施策 2-ア-02 地域の実情に応じた介護サービスの展開(介護サービスと地域福祉の連携強化)</p> <p>基本施策 2-ア-03 経営管理力の向上と人材の確保</p>	<p>○各サービスセンター内の連携強化と職員の資質向上を図ります。</p> <p>○住民と専門職や関係機関、各地区住民自治協議会などと連携して地域に貢献できる事業所を目指すとともに、住民に対し専門的知識を活用して支援を行います。</p> <p>○介護アドバイザーから学んだ知識・技術を活かして、引き続きサービスの改善に取り組み、自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスを提供します。</p>	<p>○明確な目標を与え、評価を行うことにより人材の育成や定着を図ります。</p> <p>○人材や専門職としてのノウハウを活用し、認知症の人の家族介護者や地域に貢献します。</p> <p>○介護サービス事業所における法令順守の徹底を図ります。</p> <p>○利用者に満足してもらえるサービスを提供できるよう、介護サービス事業所の環境整備を図ります。</p>	48	キャリアパス(職員の能力や資格・経験等に応じて適切な処遇を図ること)制度の整備 【介護サービス課】
			49	地域共生社会に向けた共生型サービスの検討 【介護サービス課】
			50	総合事業のサービス内容検討と実施(法人内で連携し、事業対象者・要支援者等の軽度者への参加の場を提供) 【介護サービス課】
			51	各事業所を会場に、職員の専門性を活かした講座の実施 【介護サービス課】
			52	合同担当者会議の実施 【介護サービス課】
			53	ICT(情報通信技術)活用の調査・研究 【介護サービス課】
			54	居宅介護支援事業 【介護サービス課】
			55	訪問介護事業 【介護サービス課】
			56	通所介護事業 【介護サービス課】
			57	短期入所生活介護事業 【介護サービス課】
58	認知症対応型通所介護事業 【介護サービス課】			

よう、自立支援に資する質の高いサービスを提供します。

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
介護職員が、能力・資格・経験等に応じ適切な処遇を受けることにより、将来の展望を持って働き続けられるようキャリアパス制度の整備を行う。	・介護職員が、能力・資格・経験等に応じ適切な処遇を受けることができるようキャリアパス制度を整備した。	○各サービスセンター内の事業担当者が集まる連携会議を毎月開催した。職員間の連携を図り、それぞれの事業が抱える問題点等について、様々な視点からアドバイスすることで、職員の資質向上、サービスの質向上へとつながっている。
地域共生社会に向けた共生型サービスを実施するか検討する。	共生型サービスは、障害者が65歳以上になっても、使い慣れた事業所においてサービスを利用しやすくするという観点や、福祉に携わる人材に限りがある中で、地域の実情に合わせて、人材をうまく活用しながら適切にサービス提供を行うという観点から創設されたことから、地域の実情や、人材など現状の体制で受入れが可能か検討した。	○通所介護事業所で専門職としての知識を活かした「認知症サポーター養成講座」を実施し、地域住民からも好評を得ている
事業対象者や要支援者等の軽度者に対するサービス内容について検討する。	・柳町通所介護事業所が、地区住民自治協議会と連携し、事業所の活用やサービス内容の検討を始めた。	○通所介護事業所を会場に、夏まつりや子ども食堂を開催した。参加者からボランティアまで、大勢の地域住民が施設を訪れ、地域に開かれた事業所となっている。
地域住民や介護者に施設を知ってもらったり、専門的知識や技術を活用し地域に貢献する。	・通所介護事業所を会場に、地域住民を対象に認知症サポーター養成講座を実施した。	
定期的に事業所の担当者が一堂に会し、情報交換するなどして事業所間の連携を図る。	・2か月に1回開催した。 ・全体会議の後、セクションごとの会議を行い、議論を深めた。	○介護アドバイザーから学んだ知識・技術を基に業務改善を進めるとともに、寄付金により利用者が活動しやすく施設内の環境を整えている。
業務の効率化を図るため、ICT活用に向けて、調査・研究を行う。	・セミナーに参加し、介護現場におけるICTの活用状況について、情報収集を行った。	
要介護状態の高齢者等の心身の状況、環境、希望等を把握し、ケアプランの作成を行い、サービス提供事業所との連絡調整等を行う。	10事業所でケアプランの作成等を行った。また、特定加算事業所は、運営基準等を遵守するとともにケアマネジメント技術の向上を図った。 (別表19、20) P46～48	
ホームヘルパーが家庭を訪問し、食事や排泄など日常生活上の介護や、調理や洗濯などの生活援助を行う。	身体介護または日常生活を支援する生活援助サービスを7事業所で提供した。 鬼無里訪問介護事業所を廃止し、戸隠訪問介護事業所のサテライト化を実施した。 (別表21) P49	
通所介護事業所において、食事、入浴などの日常生活上の世話や機能回復のための訓練、レクリエーションなどを行う。	通所介護サービスを10事業所で提供した。 アドバイザーの助言を取り入れ、利用者一人ひとりが持っている力を見極めながら、利用者本位の自立支援を行った。 (別表22) P51	
短期入所施設において、入浴、食事などの日常生活上の介護や機能訓練などを行う。	短期入所生活介護サービスを2事業所で提供した。 機能訓練や散歩を積極的に行った。 (別表23) P53	
通所介護事業所において、認知症のある高齢者等に配慮した介護や機能訓練等を行う。	利用者数及び稼働率の減少によりH28から休止していたが、認知症利用者について、一般型通所介護事業所内で包括的にサービスを提供していることと、職員の確保が難しい現状からH31.3.31をもって廃止とした。	

59	認知症対応型共同生活介護事業 【介護サービス課】
60	訪問看護事業 【介護サービス課】
61	居宅介護 【介護サービス課】
62	重度訪問介護 【介護サービス課】
63	同行援護 【介護サービス課】
64	移動支援サービス 【介護サービス課】
65	高齢者生活福祉センター受託事業 【介護サービス課】
66	高齢者共同生活支援施設受託事業 【介護サービス課】

運営方針イ 介護者の身体的及び精神的負担等の改善を図ることができるよう福祉サービスを提供します。

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
基本施策 2-イ-01 介護者支援の取り組みの充実	○介護をしている方の孤立化を防ぐため、リフレッシュの機会や交流の場の提供を図ります。	○認知症の家族を介護している方や、男性の介護者だけといった対象を限定した企画を開催したり、参加して楽しかったと感じてもらえるような企画を開催することで、少しでも事業に参加してもらえるような取組を検討します。[在宅介護者リフレッシュのつどい事業]、[介護者交流事業]	67	在宅介護者リフレッシュのつどい事業 【地域福祉課】
			68	介護者交流事業 【地域福祉課】

認知症高齢者を対象にしたグループホームにおいて、共同生活の中で、必要な介護や生活の世話をを行う。	鬼無里なかよしハウスにおいて、認知症対応型共同生活介護サービスを提供した。 新規入所者の行動・心理症状に対する支援方法をスタッフ全員で考えるなど、入所者が安心して共同生活を送れるよう支援した。 (別表24)P54	
看護師が家庭を訪問し、主治医の指示に従って、療養上の世話や診療の補助などを行う。	定期的に地区内のケア会議に出席し、情報交換を行った。 医療依存の高いケースに対応し、在宅での生活期間を長期に維持できるよう支援した。	
障害者の自宅において、入浴、排せつ、食事などの介護や調理、洗濯、掃除などの家事を行う。	身体介護または日常生活を支援する生活援助サービスを提供した。 サービス内容の見直し等を行い、利用者の自立支援につながるサービスを提供した。 (別表25)P54	
重度の障害者で常に介護を必要とする人に、自宅で入浴、排せつ、食事などの介護や、外出時における移動支援などを総合的に行う。	身体介護または日常生活を支援する生活援助サービスを提供した。 サービス内容の見直し等を行い、利用者の自立支援につながるサービスを提供した。 (別表25)P54	
移動が困難な視覚障害者等に対し、通院介助や日常生活における買い物など、外出時に必要な援助を行う。	視覚障害者に対し、外出支援のサービスを提供した。 サービス内容の見直し等を行い、利用者の自立支援につながるサービスを提供した。 (別表25)P54	
屋外での移動が困難な障害者を対象に、ホームヘルパーが社会生活を営む上で必要な外出や余暇活動を実現するための外出等を支援する。	障害者総合支援法に基づく市地域生活支援事業の「移動支援サービス」を提供した。 (別表26)P54	
居宅での生活に不安のある独居や夫婦のみの高齢者世帯を対象に、通所介護事業所併設の居住施設において、食事の提供、各種相談、助言、緊急対応等を行う。	3か所(鬼無里、大岡、中条)の高齢者共同生活支援施設の管理・運営を行った。 (別表27)P55	
居宅での生活に不安のある独居や夫婦のみの高齢者世帯を対象に、居住施設において、食事の提供、各種相談、助言、緊急対応等を行う。	2か所(戸隠栃原、戸隠豊岡)の高齢者共同生活支援施設の管理・運営を行った。 (別表28)P55	
事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
在宅で介護をしている介護者を対象に、心身のリフレッシュを図ることを目的として宿泊もしくは日帰り形式により交流を行う。	[宿泊事業] ○期日 10月18日(木)～19日(金) ○行先 新潟県新発田市月岡温泉 ○参加者数 92人 [日帰り事業] ○期日 10月10日(水) ○行先 諏訪市上諏訪温泉 ○参加者数 26人	○在宅で介護する介護者を対象として、心身のリフレッシュを図るための宿泊及び日帰り形式の交流会を実施したところ、継続参加者が多かった。 ○事業継続に向けて協力者の理解を得られ、支援をいただくことができた。
在宅で介護をしている介護者を対象に、短時間(2～3時間)で、日頃の介護に対する思いなどについて話し合う事業。老人福祉センターを会場に開催する。	介護者相互の連携を促進するため、昼食を伴う短時間の交流事業を本会が指定管理を行っている老人福祉センター等で開催した。 [実施概要] ○実施回数 14回(8会場)(H29 15回(8会場)) ○延べ参加者数 96人(H29 115人)	

			69	るすばん介護支援事業 【地域福祉課】
--	--	--	----	-----------------------

運営方針ウ 多様な課題を受けとめ、支援につなげる「総合相談・生活支援体制」を確立し、社会的孤立や制度の狭

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
基本施策 2-ウ-01 「受けとめる」相談事業の充実 基本施策 2-ウ-02 「地域での生活」を視点とした相談事業と支援の仕組みづくり	○市民一人ひとりがその人らしく安心して生活できる体制整備を図るため、成年後見支援センター事業部門、日常生活自立支援事業部門及び地域包括支援センター等との連携を強化し、相談から担い手養成まで総合的な取組を推進します。	○新規受託事業である市民後見推進事業に基づく養成講座の円滑な実施と、講座修了者を新たな社会資源として活用する体制を整えます。 ○平成29年3月24日閣議決定された成年後見制度利用促進計画に基づき、長野市と協議を進め、長野市成年後見制度利用促進基本計画の策定に協力します。 [長野市成年後見支援センター運営事業]	70	長野市成年後見支援センター運営事業 【地域福祉課】
			71	日常生活自立支援事業 【地域福祉課】
			72	暮らしのあんしんサービス事業 【地域福祉課】
			73	生活福祉資金貸付事業 【地域福祉課】
			74	助け合い資金貸付事業 【地域福祉課】
			75	きぼう相談事業 【地域福祉課】

<p>在宅で介護をしている介護者を対象に、訪問介護員を派遣し短時間(2~3時間)の留守番を行う事業。本会以外の訪問介護事業者にも派遣事業者として協力を仰ぎ実施する。</p>	<p>[実施件数] 23件(H29 22件) [内訳] ○平日2時間 7件(H29 6件) ○平日3時間 8件(H29 6件) ○平日時間外・土日・祝日2時間 2件(H29 0件) ○平日時間外・土日・祝日3時間 3件(H29 3件) ○その他 3件(H29 3件)</p>
--	---

間にある福祉課題・生活課題の解決を、多様な支援ネットワークの構築により進めます。

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
<p>成年後見を適切に利用するため専門相談窓口を開設し、相談から調整・申立支援等を総合的に行う。</p>	<p>[実績] ○相談件数 8,091件(H29 7,030件) ○法定後見(累計) 74件(H29 66件) ○任意後見(累計) 6件(H29 5件) (別表29)P55 ○市民後見人養成研修(10/25~12/14 全7日間) 応募者 30名 受講決定者 20名 受講者 19名 修了者 18名 実務研修者 17名</p>	<p>○三部門の連携強化により、さまざまなケースに対しスムーズな対応が可能となっており、利用者の増加につながっている。</p>
<p>認知症高齢者等の判断能力が不十分な方に対して、日常的な金銭管理や預貯金通帳等の預りを行う。(社会福祉法に定める第2種社会福祉事業)</p>	<p>長野県社会福祉協議会と契約し基幹的社会福祉協議会として、長野市、信濃町、飯綱町、小川村を対象エリアに事業を行った。なお、10月1日から飯綱町社会福祉協議会が単独実施町村社協に指定された為、飯綱町の利用者3名を移管した。 [契約件数] 200件(H29 216件) (別表30)P56</p>	<p>○日常生活自立支援事業、暮らしのあんしんサービス事業においては、既存のふれあい福祉センター及びみなみ出張所に加え、本会が管理運営する福祉センター及び老人福祉センターにおいて、サービスの一部を継続して実施している。</p>
<p>判断能力はあるが、単身高齢者等で金銭管理等の不安がある方に対して、日常的な金銭管理や預貯金通帳等の預りを行う。(長野市社協独自事業)</p>	<p>長野市の補助金により実施した。 [実績] ○契約件数 43件(H29 38件) ○相談者実数 327人(H29 333人) ○述べ相談件数 1,750件(H29 1,490件) ○契約内訳 金銭管理契約34件 財産保全契約9件 (別表31)P56</p>	
<p>低所得世帯等に対し、その世帯の自立助長を促すため資金の貸付を行う事業。総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金と用途に応じた貸付を行う。(社会福祉法に定める第2種社会福祉事業)</p>	<p>[実績] ○相談件数1,222件(H29 1,242件) ※内、みなみ出張所 97件(H29 64件) ○貸付件数 23件(H29 21件) ※内、みなみ出張所 4件(H29 1件) (別表32)P57</p>	<p>○まいさば長野市と連携し、貸付対象にならなかった方への支援についても総合的に実施できた。</p>
<p>低所得世帯等に対し、その世帯の自立助長を促すため、小口の資金貸付を行う。(長野市社協独自事業)</p>	<p>○償還件数 3件 38,000円(H29 2件 33,500円) ○未償還件数 4件 103,500円(H29 4件 141,500円) (別表33)P57</p>	
<p>誰にも相談できない、どこに相談したら良いか分からないといった「よろず」的な相談に対し、相談所を開設し相談を行う。</p>	<p>[実績] ○相談件数 1,840件(H29 1,609件) ※内、篠ノ井出張相談 496件(H29 454件) (別表34)P58</p>	

	<p>○制度の狭間にある相談を受け止める機能を強化するため、社協内の相談事業について関係機関や民生委員・児童委員、住民等に周知を行います。</p> <p>○生活困窮者の自立を図るため、生活、就労に関する総合的な相談、支援に取り組みます。</p> <p>○生活困窮者を支える地域づくりを推進するため、民生委員・児童委員との連携を図り、早期把握や見守り機能の強化を図ります。</p> <p>○高齢者や障害者、生活困窮者等住居確保が困難な方の居住支援機能を強化するため、市の住宅や福祉関係部署と連携した取組を図ります。</p>	<p>○生活支援コーディネーターや関係機関と連携しながら、介護予防・日常生活支援総合事業を推進します。</p> <p>○個別ケア会議の充実を図り、その積み重ねから地域課題の把握に努めます。</p> <p>○認知症高齢者とその家族が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援します。 [地域包括支援センター受託事業]</p> <p>○行政、ハローワーク等関係機関との連携を強化し、ニーズを早期に把握して迅速に対応します。</p> <p>○ニーズの把握から課題の整理、支援の実施までを総合的に実施し、生活困窮者等の課題を抱えた方の自立を支えます。</p> <p>○就労訓練支援事業に取り組み、出口支援の充実を図ります。</p> <p>○地区民生委員児童委員協議会定例会等に職員が出向き、事業の周知や困窮者支援に関する研修を行います。</p> <p>○住宅確保が困難な方の居住支援を推進するため、長野市住宅課、生活支援課と連携するとともに長野県あんしん創造ネット事業に参加・協力します。 [長野市生活就労支援センター“まいさぼ長野市”の運営事業]</p>	76	法律相談事業 【地域福祉課】
			77	長野市生活就労支援センター“まいさぼ長野市”の運営事業 【地域福祉課】
			78	ふれあいデイケア事業 【地域福祉課】
			79	地域包括支援センター受託事業 【介護サービス課】
			80	在宅介護支援センター受託事業 【介護サービス課】

<p>法律的な見地からの相談対応が必要な相談に対し、弁護士を相談員として、法律相談を行う。(毎月1回)</p>	<p>[実績] ○法律相談(全12回) 38件(H29 36件) (別表34)P58</p>	
<p>現に生活に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある生活困窮者の自立の促進を図ることを目的に相談支援を行う。</p>	<p>長野市からの受託により長野市生活就労支援センター「まいさぼ長野市」を平成27年度から開設し、自立相談支援事業、家計相談支援事業、就労訓練支援事業を実施した。 [実績] ○自立相談支援事業 相談件数(延べ)7,712件(H29 7,085件) ○家計相談支援事業 相談件数(延べ)1,350件(H29 917件) ○就労訓練支援事業 相談・助言・開拓等件数(延べ)326件(H29 282件) 認定就労訓練事業所新規開拓数 4法人4事業所 ○「長野県あんしん創造ネット事業」への参加 入居や就労に関する相談・問合せ件数 14件 入居保証支援事業利用件数 2件 ○民生児童委員や関係機関等を対象にした研修 開催回数 11回 (別表35)P58</p>	<p>○「長野市生活就労支援センター“まいさぼ長野市”」の相談利用者が増加し、具体的な支援や自立につながるケースが増えている。 ○まいさぼにおいて、前年度から継続して日常生活自立支援事業、暮らしのあんしんサービス事業、成年後見支援センター事業の初期相談窓口を開設。次年度については総合相談の機能を強化し、「包括的相談支援体制」の構築を推進する。</p>
<p>相談事業等で把握された既存の制度やサービスにはあてはまりにくいニーズに対してふれあい、交流の場を提供を通じ支援を実施する。</p>	<p>寄せられた相談の中から、様々な理由で外出や交流の機会が持ちにくい方を対象に心身のリフレッシュを図るとともに、相談のひとつの形態として、個々が抱える課題解決を図るために4種のメニューによりデイケアを実施した。なお居場所デイケアについては、ひきこもり者の社会参加を目的に平成30年度から実施した事業である。 (別表36)P59 [実績] ○煎茶デイケア 8回 延べ53人(H29 8回 延べ53人) ○ちぎり絵デイケア 20回 延べ57人(H29 20回 延べ50人) ○書道デイケア 47回 延べ220人(H29 47回 延べ276人) ○居場所デイケア 20回 延べ79人(H30新規事業) また、当事者交流の場として、男性同士の交流を促すため料理教室等を行った。 [実績] ○一人暮らし高齢者いきいき料理教室の開催 3回 延べ43人(H29 3回 延べ32人) ○男性の料理教室 (前期)4回 延べ60人(H29 4回 延べ74人) (後期)4回 延べ67人(H29 4回 延べ51人) ○その他(各1回開催) 包丁研ぎ11人(H29 27人)、大掃除8人(H29 9人)、フライパンでパンづくり11人、藍染め12人、料理教室フォローアップ(4回開催)33人</p>	<p>○民生児童委員が抱える困難ケースの相談に応じることで制度の狭間にある相談に対応することができた。 ○「長野県あんしん創造ネット事業」に参加、協力することで、入居保証等狭間のニーズへの取り組みが推進できた。</p>
<p>介護・福祉・保健・医療に関する総合相談窓口として設置された機関。社会福祉士・保健師・主任ケアマネジャーなどの専門職員を配置し、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう支援する。</p>	<p>安茂里・豊野サブセンター・吉田の3事業所で受託。介護者教室等を開催したり、認知症カフェの運営を支援した。 (別表37)P59</p>	
<p>地域包括支援センターの行う業務を補って、地域の身近な相談窓口として、在宅介護等に関する総合的な相談に応じ、福祉や保健などのサービスを提供するために地域内の関係機関との連絡調整を行う。</p>	<p>鬼無里・大岡の2事業所で受託。高齢者実態把握、介護者教室等を開催した。 (別表38)P62</p>	

事業理念3 状況に応じた柔軟で迅速な取組の実施

運営方針ア 地域に開かれた組織として、情報の公開や発信を行うとともに、住民からの意見を聴く仕組みをつくり、

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
基本施策 3-ア-01 広報広聴活動の充実	○広く住民や利用者からの意見を効率的に聴く広聴機能を高め、あらゆる福祉ニーズの集約を図るとともに、住民に身近で分かりやすい社会福祉協議会を目指します。	○利用者、介護者、関係機関、求職者や職員など地域住民も含めた様々な関係者等に対し、丁寧な情報発信・情報提供を行うことにより、事業やサービス内容の可視化を図ります。 ○ホームページの他にもSNS等を活用し、地域住民や利用者に分かりやすくタイムリーな情報を提供します。 ○既存の広聴機能を活用して住民や利用者からのニーズを法人内で共有し、身近な問題の解決につながる体制を整備します。 [広報・広聴活動]	81	広報活動 【総務課】【地域福祉課】 【介護サービス課】
			82	苦情対応 【総務課】

運営方針イ 制度の狭間にある福祉課題を把握し、地域の福祉ニーズに対応した新たな取り組みを迅速かつ柔軟に

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
基本施策 3-イ-01 総合力を活かした事業の展開	○組織内の各部署において潜在する問題を横断的に把握し、解決できる体制を構築します。	○三課を横断したプロジェクトチームで具体的な問題や課題の解決方法を議論しながら、新たなサービスの開発に取り組みます。 ○第二次総合計画の3年目を迎えることから、中間評価の実施に向けて取組を進めます。[課題解決プロジェクト] [課題解決プロジェクト]	83	課題解決プロジェクト 【総務課】
			84	長野ブロック社会福祉協議会 関連事業

運営方針ウ 災害等の緊急時に対応できる支援体制を構築します。

基本施策 3-ウ-01 災害時等に迅速・柔軟に対応できる体制の整備	○防災意識の向上を図るとともに、災害発生時における利用者や職員の安心と安全が確保される体制を構築します。	○職員の防災・危機管理能力向上のため、災害時を想定した実践的な訓練等を実施します。 ○長野県社協が主導する「県内社協職員災害初動時における先遣チーム(DSAT)の活動に引き続き協力します。	85	災害時想定訓練の実施 【総務課】
			86	県内社協職員災害初動時先遣チーム(DSAT)への参加

地域福祉ニーズの評価を行います。

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
<p>主に以下のような広報誌発行やホームページの運営を行う。</p> <p>ふくしながの(法人広報誌) 社協案内パンフレット 児童館だより 老人福祉センターだより ボランティアかわら版 ホームページ(法人、ボランティアセンター)</p>	<p>従来の法人ホームページのほか、SNSの利用に関するガイドラインと運用方針を定め、翌年度からのSNSの利用に向けて準備を進めた。</p> <p>法人全体の広報誌「ふくしながの」を発行し、全世帯に配布したほか、各事業や施設においてパンフレットや広報誌、案内チラシ等を発行した。</p> <p>[実績] ○ふくしながの発行日及び部数 第71号 5月1日発行 発行部数 156,500部 第72号 1月1日発行 発行部数 158,200部</p>	<p>○SNSの利用に関するガイドラインと運用方針を定めたことにより、各担当や事業所からタイムリーな情報を発信できる体制を整えることができた。</p> <p>○通所介護事業所では、介護者やケアマネジャーなどに向けて広報紙を発行し、提供するサービスや取り組み内容を周知したことで、新規利用者の獲得につながった。</p>
<p>苦情解決に関する規程に基づき、苦情受付・解決体制を整備する。</p>	<p>苦情解決第三者委員に対し前年度の苦情内容及び対応について8月2日に報告・説明を行い、対応等についてアドバイスを受けた。</p> <p>[実績] ○苦情受付件数 28件(H29 25件) (別表39)P63</p>	

実施します。

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
<p>三課を横断したプロジェクトチームで具体的な問題や課題の解決方法を議論しながら、新たなサービスの開発に取り組む。</p>	<p>第1回(6月19日) 議題①:第64回長野市社会福祉大会のテーマと講演会等講師の選定について 議題②:第二次総合計画の進捗管理等について</p>	<p>○総合計画の中間評価を含めた進捗管理については、具体的な議論を行うことができた。</p>
<p>他市町村との連携を図るため、本市周辺の社会福祉協議会で構成されている長野ブロック社協(9市町村)が行う職員研修へ参加する。</p>	<p>○長野ブロック社協職員研修会 ・開催日 平成30年8月31日(金) ・場所 小布施町健康福祉センター ・内容 ワークショップ</p> <p>○長野ブロックボランティア交流研究集会 ・開催日 平成30年11月30日(金) ・場所 小布施町健康福祉センター ・内容 講演会、事例発表</p>	<p>○本市周辺の9市町村社会福祉協議会と情報交換や福祉課題の共有を図ることにより、職員の視野の拡大やモチベーション向上につながった。</p>
<p>災害対応マニュアルに規定した災害時想定訓練として、大規模地震発生時における救援本部の応急対応を訓練し、防災・危機管理能力の向上及び災害対応マニュアルの事業継続計画(BCP)の検証と改善点の洗い出しを行う。</p>	<p>災害時を想定した実践的訓練として「震災対応型机上災害訓練」を実施した。</p> <p>実施日:平成31年1月9日(水) 午前10時～正午 場所:長野ふれあい福祉センター 会議室 訓練内容:訓練シナリオに基づき状況を付与し、対応すべき事項を判断して行動する机上型訓練 訓練項目:①情報収集・集約・伝達・共有 ②対応方針の決定 ③各班との連携</p>	<p>○災害対応マニュアル改訂後、初めて実施した机上型訓練や実際に被災した現場への職員の派遣及び災害ボランティアセンター等の研修・訓練の実施により、職員の防災意識の向上及び災害時における危機管理能力の向上が図れた。</p>
<p>県内で災害が発生した際の初動対応に備えるため、長野県社協が主導するDSATに参加する。</p>	<p>平成30年7月豪雨災害の被災地へ職員を派遣したほか、災害ボランティアセンター等に関する研修・訓練に参加した。 (別表40)P64</p>	<p>なお、安心・安全を確保する体制の構築には、今後も継続して訓練を実施する必要がある。</p>

経営理念1 地域住民に分かりやすい機能的な組織体制の確立

経営方針ア 地域福祉を推進する民間団体として、会員や理事、評議員等の果たすべき役割を明確にし、主体的な

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
	○ガバナンス(企業統治)の強化に向けて、業務の適正を確保するために必要な体制整備を図ります	○内部管理体制の整備に係る基本方針の策定を進めます。	87	法人の内部管理体制の整備【総務課】

経営方針イ 地域住民一人ひとりに身近な組織を目指すため、地域における総合相談体制・生活支援体制を強化・

	○市民一人ひとりがその人らしく安心して生活できる体制整備を図るため、日常生活自立支援事業及び暮らしのあんしんサービス事業の実施場所の整備を図ります。(事業理念2運営方針ウに関連)	○各センターにおいて通帳管理、生活支援員の勤怠管理等を実施し、生活支援員の支援拠点として整備します。	88	日常生活自立支援事業及び暮らしのあんしんサービス事業拠点の整備事業【地域福祉課】
--	---	--	----	--

経営方針ウ 専門性の高い、地域住民から信頼される職員を育成するなど、適切な人事管理を行います。

	○職種や経験などを踏まえ、個々の職員の資質・能力向上を図ります。	○階層別の研修や技能向上のための研修など体系的な研修計画を作成し、職員の資質向上に資する研修の実施、参加をします。	89	職員研修【総務課】【地域福祉課】【介護サービス課】
			90	有期雇用職員に対する無期雇用契約への転換制度【総務課】

経営判断を行うことのできる組織体制を構築します。

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
法人業務の適正を確保するために必要な整備に関する基本方針の策定及び諸規定の整備	会計監査人設置対象法人の基準の引下げが延期されたため、同基準により対象となる本事業も未実施となった。	○事業未実施
確立します。		
既存のふれあい福祉センター及びみなみ出張所に加え、本会が管理運営する福祉センター及び老人福祉センターにおいて、サービスの一部を実施する。	利用件数 4件(信州新町福祉センター)	○既存のふれあい福祉センター及びみなみ出張所に加え、本会が管理運営する福祉センター及び老人福祉センターにおいて、日常生活自立支援事業及び暮らしのあんしんサービス事業の一部を継続して実施している。
	法人全体及び各所属等において、業務遂行のために必要な研修を実施した。 (別掲P30)	○災害対応やメンタルヘルスに関する研修のほか、各所属がそれぞれ業務に必要な研修を実施し、職員の質の向上を図ることができた。
有期雇用職員のうち、通算雇用期間が5年を越えた希望する職員に対し、次回の雇用契約から期間の定めのない無期雇用契約に切り替えるための制度整備	平成31年4月1日から無期雇用職員に転換するための申込状況 受付期間:平成30年4月1日～平成30年12月28日 対象者:嘱託 118人、臨時・パート 654人、計772人 申出者:嘱託 29人、臨時・パート 65人、計 94人 申出率:嘱託24.6%、臨時・パート9.9%、計 12.2%	

経営理念2 健全な財政運営の実現

経営方針ア 介護サービス等の自主事業においては、介護保険法や障害者総合支援法等に基づき、質の高い安定

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
	○サービスの質の向上と併せて、健全経営のため不採算事業の改善に努めます。	○事業所拠点を整備し、中山間地域であっても介護サービス事業の採算性確保を目指します。	91	中山間地域事業所の採算性確保 【介護サービス課】

経営方針イ 制度の狭間にある福祉課題を把握し、地域の福祉ニーズに対応した事業を迅速かつ柔軟に実施するた

		○生活困窮者への支援機関との情報交換等を通じてニーズを把握し、行政等を含め事業の開発や財源の確保について検討します。	92	生活困窮者に対する独自支援の検討 【地域福祉課】
			93	住居確保困難者に対する居住支援の検討 【地域福祉課】

経営方針ウ 公共性の高い民間団体として行政や関係機関とも密接に連携し、公費財源を確保したうえで社会福祉

			94	ふれあい福祉基金の運営 【総務課】
			95	ボランティア活動振興基金の運営 【総務課】

したサービスが継続できるよう財政運営に努めます。

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
<p>中山間地域事業所の健全経営のため、業務改善等により採算性確保に向けた取り組みを進める。</p>	<p>中山間地域である戸隠、鬼無里、大岡、信州新町、中条の各センターに担当職員を決め、各センターの連携会議や運営推進会議等に参加した。 鬼無里訪問介護事業所のサテライト化、鬼無里通所介護事業所の地域密着型通所介護への移行準備を進めた。</p>	<p>○中山間地域の不採算事業については、事務局担当者を決め、該当センター職員と一緒に赤字圧縮を進めた。</p>

め民間財源の確保に努め、さらなる財政状況の透明化を図ります。

<p>緊急性の高い食糧支援のニーズに対応するため社協職員に協力を呼びかけ「社協内フードドライブ」を実施する。</p>	<p>○緊急性の高い課題に対応するため、食料支援としての「社協内フードドライブ」をはじめ、生活に必要な物品の提供を実施し、既存の制度では対応できない支援に取り組んだ。 〔実績〕 支援者数 239人(H29 319人) 被支援者数 456人(H28 203人)</p>	<p>○多くの被支援者から感謝の声をいただいた。継続を望む声が多いが、周知と安定的な運営の仕組みづくりが課題である。</p>
<p>高齢や障害、生活困窮等により住居確保が困難な方に対して、行政と協力して課題の共有や解決策の検討を行う。</p>	<p>○長野市生活支援課、住宅課と協議を重ね、居住支援について検討を行った。また長野県内社協で実施している「あんしん創造ネット」事業の利用について、初めて市営住宅にも適用を認めてもらい、事業の利用となった。 〔実績〕 市営住宅の「あんしん創造ネット」の利用:1件 関係機関との打合せ:随時</p>	<p>○住宅確保が困難な方に対する関係機関のネットワークが構築できた。 ○今後も「あんしん創造ネット」の利用に向け関係機関と調整を行う必要がある。</p>

協議会らしい事業展開ができる体制を行政とともに構築します。

<p>長野市における地域福祉の向上をめざし、福祉需要の増大及び多様化に対応した事業の推進を図ることを目的とした基金の運営を行う。</p>	<p>積立額:830,465円(使途不特定寄附ほか) 取崩額:7,544,197円(共同募金配分金、福祉総合相談、介護者支援等の事業費に充当) 〔H30年度末基金残高〕 143,715,036円(前年度比△6,713,732円)</p>	
<p>地域福祉の向上をめざし、自主的に継続的なボランティア活動の振興を図ることを目的とした基金の運営を行う。</p>	<p>角藤商事からの寄附金は積立を行い、運用益2,678,512円は介護者リフレッシュ事業、ボランティアセンター活動事業の財源として活用した。 〔H30年度末基金残高〕303,191,053円 (前年度比+5,000,000円)</p>	

付 属 明 細 書

Ⅱ 経営理念に関する別掲資料

1 会務の運営

会務の運営は、理事会及び評議員会に諮りながら推進し、監事の指導及び監査により執行の適正を期した。

(1) 理事会の開催

【第1回理事会】

平成30年5月29日(火) 午前9時57分～午前11時18分

長野市ふれあい福祉センター 5階ホール

- 報告第3号 平成29年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会補正予算の専決について
報告第4号 社会福祉法人長野市社会福祉協議会公印規程の一部を改正する規程の専決について
議案第7号 平成29年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会事業報告
議案第8号 平成29年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会決算
議案第9号 評議員補充選任候補者の推薦について
議題第10号 評議員選任・解任委員会の開催について
議題第11号 定時評議員会の開催について

【第2回理事会】

平成30年7月9日(月) 午後3時58分～午後4時18分

ホテルメトロポリタン長野 3階 志賀

- 議題第12号 第64回長野市社会福祉大会の開催について
報告第5号 評議員の補充選任について

【第3回理事会】

平成30年10月23日(火) 午後1時57分～午後2時47分

長野市ふれあい福祉センター 5階ホール

- 報告第6号 社会福祉法人長野市社会福祉協議会訪問介護事業所設置規程の一部を改正する規程の専決について
報告第7号 会長、常務理事の職務執行状況について
報告第8号 平成30年度上半期事業の進捗状況等について

【第4回理事会】

平成31年3月18日(月) 午後2時00分～3時47分

長野市ふれあい福祉センター 5階ホール

- 議案第1号 平成31年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会事業計画
議案第2号 平成31年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会予算
議案第3号 社会福祉法人長野市社会福祉協議会就業規則の一部を改正する規則
議案第4号 社会福祉法人長野市社会福祉協議会有期雇用職員就業規則の一部を改正する規則
議案第5号 補欠理事の選任候補者について

- 議案第 6 号 平成30年度第 2 回評議員会の招集について
報告第 1 号 社会福祉法人長野市社会福祉協議会職員の給与規程の一部を改正する規程
の専決について
報告第 2 号 会長、常務理事の職務執行状況について
報告第 3 号 平成30年度下半期の事業進捗状況等について

(2) 評議員会の開催

【第 1 回評議員会】 平成30年 6 月13日(水) 午後 2 時00分～午後 3 時07分
長野市ふれあい福祉センター 5 階ホール

- 報告第 2 号 評議員の補充選任について
報告第 3 号 平成29年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会補正予算の専決について
議案第 3 号 平成29年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会事業報告
議案第 4 号 平成29年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会決算

【第 2 回評議員会】 平成31年 3 月27日(水) 午後 1 時58分～午後 3 時14分
長野市ふれあい福祉センター 5 階ホール

- 議案第 1 号 平成 31 年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会事業計画
議案第 2 号 平成 31 年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会予算
議案第 3 号 補欠理事の選任について
報告第 1 号 平成30年度事業の進捗状況等について

(3) 正副会長会の開催

【第 1 回正副会長会】 平成30年 7 月 9 日 (月) 午後 3 時～
ホテルメトロポリタン長野 3 階 黒姫

- 議 題 (1) 第 2 回理事会の議事について
(2) 第 64 回長野市社会福祉大会 顕彰者の審査について
(3) 第 64 回長野市社会福祉大会 次第について
(4) その他

(4) 評議員選任・解任委員会の開催

【第 1 回評議員選任・解任委員会】 平成 30 年 6 月 6 日 (水)
長野市ふれあい福祉センター 2 階会議室 1

- 議案第 1 号 評議員の補充選任について

(5) 事業及び会計の監査

【平成 29 年度監査】 平成 30 年 5 月 16 日 (水)・17 日 (木)
長野市ふれあい福祉センター 2 階会議室 2

- 監査対象 ア 平成 29 年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会事業及び業務
執行状況

2 役員研修の実施

(1) 第67回長野県社会福祉大会への参加

ア 期 日 平成 30 年 9 月 12 日 (水)

イ 会 場 塩尻市文化会館レザンホール (塩尻市大門七番町 4 番 8 号)

ウ 参加者数 15 人 (理事・評議員・事務局職員)

エ 概 要

(ア) 式典 (表彰、共同募金に対する謝辞)

(イ) トークセッション

地域づくりを“我が事”に ～住民リーダー&コーディネーター大集合!!～

コーディネーター 阿部 陽一郎 氏

①基調報告

「うちの実家」の取組みと行政とのパートナーシップ

河田 珪子 氏 (支え合いのしくみづくりアドバイザー)

②事例発表

塩尻市木曾平沢宮下町会「お助け隊」

～地域づくりリーダー&地域福祉コーディネーター～

小川 博國 氏 (塩尻市檜川 宮下地区お助け隊リーダー)

百瀬 努 氏 (塩尻市社会福祉協議会地域福祉コーディネーター)

③事例発表

南箕輪村生活支援体制整備事業と地域の取り組み

～支え合い実践者&地域包括支援センター職員～

越後 幸益 氏 (支え合い実践者)

村上 貴昭 氏 (南箕輪村地域包括支援センター職員)

④事例発表

「住み続けられる遠山をめざそう！」

～南信濃地域福祉プロジェクト～

～住民活動リーダー&市の自治振興センター職員～

山崎 元宏 氏 (南信濃地域福祉プロジェクトリーダー)

村澤 勝弘 氏 (飯田市南信濃自治振興センター職員)

(ウ) 地域公益活動PR・大会アピール

3 職員研修の実施及び参加

(1) 法人全体の研修（3課共通）

実施日	内 容	対象者	参加者数
平成 30 年 4 月 2 日（月）	新規採用職員研修 （法人の運営及び各課の実施事業について説明）	新規採用職員（一部嘱託職員等を含む）	23 人
平成 30 年 6 月 20 日（水）から 平成 30 年 10 月 4 日（木） の間に 6 回参加	安全運転管理者等講習 主催：安全運転管理者協会	各事業所安全運転管理者及び副安全運転管理者（所長等）	15 人
平成 31 年 1 月 23 日（水）から 平成 31 年 1 月 29 日（火） の間に 3 回実施	職員メンタルヘルス基礎研修 ～心の健康、まずセルフケア！～ 講師：シニア産業カウンセラー 清水千恵子氏	全事業所の正規職員 および嘱託職員	234 人
平成 31 年 1 月 9 日（水）	災害対応机上型訓練 （防災・危機管理能力向上と BCP の検証を目的として実施）	救援本部メンバー	24 人
平成 31 年 2 月 22 日（金）	退職者セミナー （退職後の生活設計について 講師：社会保険労務士、金融機関）	平成 30・31 年度 定年退職予定者	5 人
毎月（第二火曜日実施）	メンタルヘルス個別研修 担当：日本産業カウンセラー協会 上信越支部長野事務所	全職員のうち希望者	延べ 47 人

(2) 児童館・児童センター、子どもプラザ職員研修

実施日	内 容	対象者	参加者数
平成 30 年 5 月 8 日（火）	館長・施設長・コーディネーター研修 「子どもが育つ、子どもと育つ。 ～健全育成に向けて～」	館長、施設 長、コディ ネーター	99 人
平成 30 年 6 月 5 日（火）	第 1 回支援員研修 「危機管理・緊急対応について （けが・病気等）」 「小児（学童期）の急病・けがの対応」	支援員	88 人
平成 30 年 7 月 12 日（木）	第 2 回支援員研修 「学童期の育成にかかわる遊び・生活・食育 について～命を育てる～」 「食物アレルギー等への対応のしかた ～命を守る～」	支援員	88 人

実施日	内 容	対象者	参加者数
平成 30 年 9 月 6 日 (木)	第 3 回支援員研修 「社協職員としての心構え」 「子どもと接する心と技と人権感覚 ～児童の支援に携わる者として～」	支援員	85 人
平成 30 年 10 月 12 日 (金)	第 4 回支援員研修 「特性のある児童の理解と支援」	支援員	91 人

(3) 介護サービス課職員研修

実施日	内 容	対象者	参加者数
平成 30 年 4 月 3 日 含 2 回	ステップアップ (1 年目) ・認知症・接遇研修	新規採用者	15 名
平成 30 年 4 月 23 日 含 6 回	新人職員研修	新規採用者	11 名
平成 30 年 5 月 22 日 ～5 月 23 日 含 3 回	山下総司氏 通所介護 業務改善研修	通所介護員他	
平成 30 年 5 月 25 日	エンディングノート書き方研修	課長	1 名
平成 30 年 6 月 5 日	苦情対応実践研修	苦情受付担当者	13 名
平成 30 年 6 月 15 日	生涯研修 新任管理者課程	管理者他	8 名
平成 30 年 7 月 2 日	福祉経営研修	課長補佐 係長	2 名
平成 30 年 7 月 10 日	包括・居宅全体研修	包括・居宅職員	55 名
平成 30 年 7 月 12 日	個別機能訓練研修	通所機能訓練 指導員 看護員	4 名
平成 30 年 7 月 12 日	応急手当普及員研修	介護員他	6 名
平成 30 年 7 月 19 日	接遇研修	課長	1 名
平成 30 年 7 月 25 日 含 12 回	主任介護支援専門員研修	介護支援専門員	3 名
平成 30 年 7 月 26 日	保険外サービス経営戦略研修	課長補佐 訪問介護員	4 名

実施日	内 容	対象者	参加者数
平成 30 年 8 月 9 日 含 6 回	サービス提供責任者研修	訪問介護員	4 名
平成 30 年 8 月 21 日 ～22 日	認知症対応型管理者研修	通所介護員	3 名
平成 30 年 8 月 24 日 含 2 回	個別機能訓練研修	通所 看護 員・介護員	50 名
平成 30 年 9 月 6 日 ～7 日	生涯研修 中堅職員課程	介護員	2 名
平成 30 年 9 月 13 日	包括・居宅全体研修	包括・居宅職員	55 名
平成 30 年 9 月 26 日 含 2 回	市町村社会福祉協議会 経理研修	主事	1 名
平成 30 年 9 月 27 日	機能訓練指導員研修	通所機能訓練 指導員	2 名
平成 30 年 9 月 28 日 含 2 回	生涯研修 OJTリーダー課程	係長・主任	8 名
平成 30 年 10 月 15 日 含 6 回	山下総司氏 通所介護 業務改善研修	通所介護員他	
平成 30 年 10 月 10 日	介護支援専門員 実務研修実習指導者養成研修	介護支援専門員	9 名
平成 30 年 10 月 21 日	介護マネジメントセミナー	課長補佐	1 名
平成 30 年 10 月 22 日	障害者虐待防止・権利擁護研修	訪問介護員	5 名
平成 30 年 11 月 12 日 含 2 回	ステップアップ（5 年目）研修	介護職員 （正規・嘱託）	124 名
平成 30 年 11 月 10 日	応急手当普及員更新研修	介護職員	2 名
平成 30 年 12 月 5 日	認定調査員現任研修	介護支援専門員	16 名
平成 31 年 1 月 25 日 含 2 回	安全運転研修	介護職員	10 名
平成 31 年 3 月 6 日	労務管理・人材育成セミナー	課長補佐 主事	3 名
平成 31 年 3 月 7 日	ステップアップ（1 年目） ・認知症・接遇研修	新規採用者職員	13 名

実施日	内 容	対象者	参加者数
平成 30 年 4 月 ～平成 31 年 3 月	エルダーメンター研修	新規採用者職員	25 名

(4) 地域福祉課職員研修

実施日	内 容	対象者	参加者数
平成 30 年 8 月 23 日 (木)	日常業務において地域福祉の相談窓口として、住民との対人コミュニケーション向上を目的とした研修	地域たすけあい事業 コーディネーター 老福センター職員	36 人
平成 30 年 10 月～11 月 延べ 13 日	地域たすけあい事業の高齢運転協力会員を対象とした安全運転研修(実技中心)	地域たすけあい事業 運転協力会員	143 人
平成 30 年 10 月 18 日 (木) 平成 30 年 11 月 28 日 (水) 平成 31 年 3 月 20 日 (水)	きぼう相談員の資質向上を目的とした研修会	きぼう相談員及び地域 福祉課担当職員	22 人
平成 31 年 2 月 15 日 (金)	老福センターにて開催するサロン事業において、講師補助者を養成することを目的とした研修	老福センター指導員・ 相談員	13 人
平成 31 年 3 月 14 日 (木)	住民からのクレーム対応を中心に、接遇向上を図ることをもくてきとした研修	地域たすけあい事業 コーディネーター	25 人

Ⅲ 事業実績（資料）

事業理念1

住民参加・協働による福祉を基盤としたまちづくり

運営方針 ア 実績資料

別表1（事業No.4）福祉のまちづくりを進めるための実践事業及び小地域福祉懇談会助成事業実績

事業名	実施数	助成金額
(1)福祉のまちづくり啓発事業	26 地区	734,452 円
(2)地域福祉懇談会事業	20 地区	509,332 円
(3)介護者支援事業	22 地区	490,942 円
(4)福祉推進員活動事業	24 地区	642,378 円
(5)男性地域デビュー促進事業	24 地区	455,737 円
(6)きぼうの旅事業	14 地区	680,000 円
(7)サロン事業	715グループ	6,971,073 円
(8)福祉自動車運行事業	25 地区	7,500,000 円
(9)子育て・子育て支援事業	18 地区	817,737 円
(10)地区独自課題対応事業	27 地区	1,222,423 円
合 計		20,024,074 円 (19,863,231 円)

※（ ）内数字は、平成29年度

別表2（事業No.9）社会を明るくする運動推進事業実績

1 各地区助成状況一覧

地区名	助成回数	作文発表	講演会	映画会	懇談会	演奏会 等発表	P R 他	住民集会 参加者数	地区推進 委員会
第 一									
第 二	1								7/20
第 三	1								7/13
第 四									
第 五									
芹 田	2		7/27					123	2 回
古 牧	2	7/21	7/21					90	6/16
三 輪									
吉 田									
古 里	1		7/22					92	6/22
柳 原	2						7/25	29	2 回

地区名	助成回数	作文発表	講演会	映画会	懇談会	演奏会 等発表	P R 他	住民集会 参加者数	地区推進 委員会
浅 川	2	7/29	7/29					150	6/14
大豆島	2	6/30	6/30			6/30		130	5/14
朝 陽									
若 槻	2	7/21				7/21		130	3 回
長 沼	2					7/20		90	6/21
安茂里	2		6/30					100	5/11
小田切	2		7/4					27	4/11
芋 井	2		10/1				10/1	56	6/21
篠ノ井	2		3 回		2 回			304	2 回
松 代	2	7/21			7/21			137	6/11
若 穂	2								7/7
川中島	2						7/5	27	6/12
更 北									
七二会	2		7/30					80	4/23
信 更	2					12/1		80	6/27
豊 野	2		12/8			12/8		138	6/1
戸 隠	2					10/27	10/27	88	6/21
鬼無里	1								
大 岡	2		1/20				7/22	129	6/20
信州新町									
中 条	1		7/12					23	6/28
合 計	24 地区 43 回	5 地区	13 地区	-	2 地区	6 地区	5 地区	2,023 人	25 地区 30 回
(参考) 29 年度	25 地区 44 回	6 地区	17 地区	3 地区	2 地区	5 地区	5 地区	2,996 人	25 地区 30 回

※地区推進委員会 1 回につき 5,000 円、地区住民集会 1 回につき 15,000 円以内を助成した。

2 広報活動の実施

- (1) 有線放送、各地区での広報活動等、周知を図るための活動を行った。
- (2) 挨拶ポスター1,200 枚を各行政区、学校関係（小・中・高・特殊諸学校）、市役所、市社協、児童館に配布した。

別表3 (事業No.10) 災害見舞金事業実績

(金額:円)

種別	区分	件数	市社協 @10,000	県共募 @10,000 (@5,000)	日赤 県支部 @10,000	合計	
住宅 罹災	火災	全焼	13	130,000	130,000	毛布(39枚)	260,000
		半焼	4	40,000	40,000	毛布(6枚)	80,000
		集合住宅	0	0	0	0	0
	災害	全壊	1	10,000	10,000	毛布(7枚)	20,000
		半壊	0	0	0	0	0
		床上浸水	0	0	0	0	0
小計		18	180,000	180,000	毛布(52枚)	360,000	
事故 死等	交通事故	10	100,000			100,000	
	その他事故	2	20,000			20,000	
	火災死亡	4	40,000	40,000	40,000	120,000	
	小計	16	160,000	40,000	40,000	240,000	
合計		34	340,000	220,000	40,000	600,000	
(参考)平成29年度		22	220,000	150,000	40,000	410,000	

※県共同募金会の見舞金()内は、下宿・寄宿舍・病院等で罹災の場合に適用します。

運営方針 イ 実績資料

別表4 (事業No.11) 地域たすけあい事業実績

(単位:件・人)

項目		年度		
		平成28年度	平成29年度	平成30年度
サービス総実施件数		42,805	40,778	40,690
内 訳	家事援助サービス	3,395	3,718	4,383
	福祉移送サービス	39,410	37,060	36,307
利用会員数		3,294	3,212	2,485
協力会員数		544	543	483

別表5 (事業No.18、36) 第64回長野市社会福祉大会の開催実績

- 1 期 日 平成30年8月29日(水)
- 2 会 場 長野市ふれあい福祉センター 5階ホール
- 3 参加者数 約120人
- 4 内 容
 - (1) 式典 14:00~14:40
 - 顕彰(社会福祉関係功労者等に対し、大会壇上において顕彰した。)
 - ア 社会福祉功労者 14人

- イ 優良住民自治協議会等 2 地区
 ウ 社会福祉事業協助者（感謝） 14 人（団体等含む）

(2) シンポジウム 14:50~16:30

標題 支え合いの地域へ ～ふるさとをここに ひとりひとりができること～

シンポジスト 青木 健太 氏（松本市並柳団地町会 町会長）

岡宮 真理 氏（さんぼんやなぎプロジェクト 代表）

山田 翔太 氏（御代田町社会福祉協議会 主任）

コメンテーター 佐藤 大輔 氏（信濃毎日新聞社 記者）

コーディネーター 土屋 ゆかり（本会地域福祉課 主幹）

運営方針 ウ 実績資料

別表 6（事業№.22、23、25）老人福祉センター等管理経営事業等の実施実績

1 高齢者生きがいづくり事業及びボランティアコーディネート事業実績

項目 施設	年間件数					年間利用者数(人)		
	教養・生きがいづくり講座	地域福祉活動	グループ・団体活動	その他の事業	計	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
三陽	193	394	742	1,302	2,631	19,545	17,939	18,743
安茂里	216	346	560	228	1,350	13,463	14,842	15,100
篠ノ井	223	244	433	513	1,413	13,966	13,647	12,958
氷 鉦	229	365	1,306	570	2,470	26,864	25,219	23,865
戸 隠	—	—	—	—	—	1,176	—	—
鬼無里	95	21	49	148	313	2,655	3,541	3,653
信州新町	387	32	297	168	884	6,763	6,910	6,892
中 条	76	209	38	286	609	3,928	3,647	3,458
合 計	1,419	1,611	3,425	2,906	9,670	88,360	85,745	84,669

※延べ実施回数及び人数

※戸隠は平成 29 年度より長野市の直営となり、平成 28 年度末で当会での管理経営は終了。

2 氷鉦老人憩の家利用実績

年度別	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
利用者数	15,967	14,599	13,034

※延べ人数

別表7（事業No.30）ボランティアコーディネーターによるコーディネート事業実績

1 件数

項目 \ 年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
相談・調整件数	21,131	20,656	20,225

2 内訳

項目		平成28年度	平成29年度	平成30年度
調整 ケ- ース 件 数	ボランティアしたい	391	333	269
	ボランティア求む	544	514	332
	情報求む	279	457	316
	ボランティア活動支援	725	521	207
	ボランティア活動上の悩み	64	47	12
	よろず相談・悩み	83	103	136
	ボランティア保険・事故処理	31	48	41
	ボランティアセンター事業	-	286	237
	福祉共育	-	28	80
	ボランティア活動要請	-	40	74
	寄付関係	-	223	273
	その他	-	-	19
	計	2,117	2,600	1,996
簡 易 相 談 件 数	情報提供	2,932	2,558	1,926
	チラシ・掲示	754	701	569
	機材貸出	1,702	1,696	1,500
	会議室予約	2,886	2,797	2,890
	伝言	1,102	1,096	1,095
	よりいい会	6,834	6,305	6,969
	その他	2,804	2,903	3,280
	計	19,014	18,056	18,229
合 計	21,131	20,656	20,225	

別表8（事業No.30）ボランティア活動機材の貸し出し事業実績

機材名	件数	機材名	件数	機材名	件数
車椅子	100件 (234台)	アイマスク	14件 (717枚)	白杖	13件 (298本)
点字板	10件 (256枚)	PCプロジェクター	29件	ラジカセ	2件
ワイヤレスアンプ	7件	DVDプレーヤー	1件	コピー機	861件
印刷機	661件	綿飴・ポップコーン	3件	その他	93件 (234個)

別表9 (事業№.31) まちの縁側づくり事業及びコーディネート力養成講座実施事業実績

月日	内 容	講師	人数
5月18日	「ボランティアとは」 ボランティアとはなんですか？ 改めてボランティアについて考えます	松村 隆さん (賛育会豊野病院事務長)	27名
6月20日	「長野市における住民同士の支え合いの重要性」 長野市で今、どんな問題がおき、どのような活動がうまれているのか、各地域の実践例から学びます (地域福祉推進セミナー同時開催)	片桐美登さん、荒井氏(安茂里地区健康福祉部会)、唐臼ウルトラ隊、三輪地区ボラセン所長、松枝氏(ぐぜサロン)、信更地区福祉ワーカー	340名
6月21日	「地域の資源と繋がろう！」 地域の資源とは何でしょうか？ 地域の資源を知り、つながる意味を学びます	片桐美登さん (社福)長野県西駒郷)	51名
7月14日	「地域と育てる子どもたちの未来～ボランティアを通じて作る社会」 また「この活動先でボランティアしたい！」と活動者に思ってもらえるボランティアコーディネーションを学びます (兼サマチャレ事前研修)	高山さや佳さん (NPO法人Happy Spot Club 代表)	67名
9月18日	「まあい会議の作り方」 ファシリテーション講座 全員が発言できる、やわらかい会議進行の極意を学びます	名畑 恵さん (NPO法人まちの縁側育くみ隊代表理事)	38名
9月27日	「地域のボランティア活動と守秘義務 ～「個人情報」の適切な取り扱いのために～」 安心して地域で活動するために知っておきたい個人情報・プライバシーのことを学びます	中寫知文さん (中寫知文・実香法律事務所)	67名
10月14日	「居場所づくり まちの縁側 in 三輪」 自分達の地域のお宝(資源)を歩いて発見！訪ねてみよう	まちの縁側育みプロジェクトながの	100名
11月15日	「レクリエーションを学ぶ」 お茶のみサロンなど、人が多く集まる場で盛り上がるレクリエーションを学びます	盛田芳文さん (長野県レクリエーション協会会員、RE-Create 援 代表)	34名
12月6日	「傾聴とは？」 人の話を聞くことの難しさや、なぜ傾聴が大切なのか、講義やさまざまなワークを通して学びます	末松渉さん (臨床心理士・東京いのちの電話顧問・東京都スクールカウンセラー)	59名
1月10日	「傾聴講座 技術編」 地域で傾聴・話相手が必要とされている今、ボランティア活動をしていくために、いろいろなシーンを体験しながら、傾聴の技術を学びます。	春原るみさん (長野保健医療大学講師)	15名
合計	10 講座		798名

別表 10 (事業No.33) 児童館・児童センター・放課後子どもプラザの管理経営事業実績

1 児童館の管理経営状況 (児童センター31館、児童館5館)

(単位：人)

No.	名 称	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
		登録 児童数	年間延べ 利用児童数	登録 児童数	年間延べ 利用児童数	登録 児童数	年間延べ 利用児童数
1	箱清水 児童センター	90	9,390	93	11,076	71	8,086
2	長野中央 児童館	32	5,514	40	6,130	—	—
3	加茂 児童センター	68	10,189	68	11,458	79	13,120
4	芹田 児童センター	186	28,927	192	28,754	—	—
5	古牧 児童センター	115	21,062	140	24,819	128	21,478
6	日詰 児童館	65	8,498	56	8,165	61	9,147
7	三輪 児童センター	141	26,201	154	27,863	152	27,747
8	裾花 児童センター	89	12,704	79	12,071	89	15,965
9	柳町 児童センター	70	13,156	78	15,640	85	15,584
10	湯谷 児童センター	92	13,979	78	13,826	81	12,792
11	南部 児童センター	121	20,847	109	17,524	134	21,032
12	大豆島 児童センター	237	38,531	245	41,041	245	43,385
13	朝陽 児童センター	119	20,682	128	19,338	118	20,345
14	柳原 児童センター	84	14,733	84	15,847	87	18,304
15	長沼 児童センター	49	10,186	54	11,661	52	11,675
16	古里 児童センター	199	26,425	222	29,349	157	24,090
17	若槻 児童館	61	11,299	69	10,930	57	9,076
18	徳間 児童センター	107	21,657	108	22,777	113	23,520
19	浅川 児童センター	63	7,156	58	4,918	42	5,387
20	芋井 児童センター	20	4,167	21	4,490	20	4,261
21	安茂里 児童センター	99	13,868	105	15,409	85	14,343
22	松ヶ丘 児童センター	55	8,896	67	11,132	62	11,017
23	篠ノ井中央児童センター	129	21,435	136	24,102	160	28,308
24	篠ノ井東 児童センター	101	17,223	100	16,269	96	14,873
25	篠ノ井西 児童センター	82	16,335	89	16,551	86	17,330
26	共和 児童センター	144	28,683	144	28,890	136	28,784
27	塩崎 児童館	67	9,913	71	11,958	64	11,005
28	松代花の丸児童センター	97	18,778	94	17,483	85	15,634
29	豊栄 児童館	38	5,841	41	5,892	38	5,341
30	松代東条 児童センター	66	13,681	53	10,210	52	11,013
31	綿内 児童センター	118	20,422	125	21,207	112	20,006
32	川田 児童館	99	17,480	98	16,207	72	10,613
33	保科 児童センター	75	9,590	81	7,814	61	7,615

No.	名 称	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
		登録 児童数	年間延べ 利用児童数	登録 児童数	年間延べ 利用児童数	登録 児童数	年間延べ 利用児童数
34	昭和 児童センター	184	34,469	175	32,401	156	24,610
35	川中島 児童センター	120	22,017	121	23,433	118	20,462
36	青木島 児童センター	97	17,133	96	18,456	88	16,198
37	下氷鮑 児童センター	116	20,875	104	18,307	119	20,227
38	三本柳 児童センター	122	25,706	126	24,974	150	26,437
39	真島 児童館	32	5,830	33	6,435	—	—
合 計		3,849	653,478	3,935	664,807	3,511	608,810

※ 登録児童数は各年度 4 月 1 日現在

※ 長野中央児童館・芹田児童センター・真島児童館は平成 29 年度末で廃止となったため、平成 30 年度の実績は記載していない。

2 放課後子どもプラザの管理経営状況（プラザ 46 施設）（単位：人）

No.	名 称	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
		登録 児童数	年間延べ 利用児童数	登録 児童数	年間延べ 利用児童数	登録 児童数	年間延べ 利用児童数
1	城山子どもプラザ	145	12,877	167	13,997	136	12,632
2	鍋屋田子どもプラザ	62	5,974	59	5,380	118	14,122
3	加茂子どもプラザ	39	2,053	43	2,232	30	2,606
4	山王子子どもプラザ	88	7,906	145	15,583	117	15,160
5	芹田子どもプラザ	115	13,376	119	8,681	298	40,274
6	古牧子どもプラザ	83	10,002	99	11,464	110	11,884
7	緑ヶ丘子どもプラザ	141	20,163	172	20,292	171	19,727
8	三輪子どもプラザ	89	9,631	111	9,973	79	7,585
9	裾花子どもプラザ	145	12,506	164	12,082	131	12,310
10	城東子どもプラザ	62	6,583	62	3,797	48	5,002
11	湯谷子どもプラザ	73	7,760	88	7,154	80	8,519
12	南部子どもプラザ	165	26,785	172	19,021	154	13,787
13	大豆島子どもプラザ	169	17,081	160	15,022	144	14,623
14	朝陽子どもプラザ	81	8,149	96	8,291	104	10,794
15	柳原子どもプラザ	117	11,041	123	10,687	88	8,663
16	古里子どもプラザ	82	5,372	92	6,761	99	9,041
17	若槻子どもプラザ	84	10,159	109	11,495	112	15,990
18	徳間子どもプラザ	115	13,854	131	16,619	135	16,692
19	浅川子どもプラザ	164	9,541	153	8,146	67	8,124

No.	名 称	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
		登録 児童数	年間延べ 利用児童数	登録 児童数	年間延べ 利用児童数	登録 児童数	年間延べ 利用児童数
20	安茂里子どもプラザ	60	6,281	63	5,711	45	5,466
21	松ヶ丘子どもプラザ	81	5,752	91	6,723	65	6,562
22	通明子どもプラザ	180	19,606	202	18,086	149	16,736
23	篠ノ井東子どもプラザ	107	13,539	116	13,624	132	13,246
24	篠ノ井西子どもプラザ	282	46,280	286	49,173	270	45,415
25	共和子どもプラザ	103	9,812	116	9,343	229	10,528
26	信里子どもプラザ	53	8,734	48	7,482	39	6,311
27	塩崎子どもプラザ	83	6,524	72	5,930	47	5,422
28	松代花の丸子どもプラザ	29	5,210	35	4,170	38	4,547
29	清野子どもプラザ	42	5,552	43	5,602	38	5,918
30	西条子どもプラザ	34	5,426	41	6,768	40	6,324
31	東条子どもプラザ	38	4,822	38	5,009	35	4,893
32	寺尾子どもプラザ	55	7,196	64	8,782	65	9,439
33	綿内子どもプラザ	15	1,219	24	2,032	29	3,119
34	昭和子どもプラザ	58	6,158	87	6,859	96	7,677
35	川中島子どもプラザ	138	13,847	146	13,704	114	11,353
36	青木島子どもプラザ	71	8,998	71	8,321	64	7,202
37	下氷鉋子どもプラザ	85	8,745	104	10,014	96	8,941
38	三本柳子どもプラザ	110	15,236	125	13,647	129	12,950
39	真島子どもプラザ	42	2,895	36	2,387	51	8,513
40	七二会子どもプラザ	47	3,984	44	4,222	27	3,209
41	信更子どもプラザ	42	8,251	37	7,310	33	6,852
42	戸隠子どもプラザ	74	7,146	71	6,663	51	4,716
43	鬼無里子どもプラザ	24	4,534	25	5,018	20	4,489
44	大岡子どもプラザ	24	4,734	21	4,043	5	2,276
45	信州新町子どもプラザ	102	12,427	84	9,470	56	7,475
46	中条子どもプラザ	52	5,325	53	6,404	40	5,799
	合 計	4,050	459,046	4,408	453,174	4,224	482,913

※ 登録児童数は各年度 4 月 1 日現在

別表 11 (事業No.34) ふれあい福祉センター管理経営事業実績

(単位：件・人)

年 度	件 数								利用者数
	会議室1	会議室2	会議室3	会議室4	研修室	料理実 習室	ホール	合計	合計
24	362	799	775	736	760	282	696	4,410	93,464

年度	件 数								利用者数
	会議室1	会議室2	会議室3	会議室4	研修室	料理実習室	ホール	合計	合計
25	299	808	763	762	725	274	787	4,398	88,974
26	323	846	789	781	760	274	823	4,596	91,156
27	314	775	673	725	778	239	714	4,218	91,005
28	307	824	722	735	763	295	756	4,402	93,679
29	455	799	724	727	755	300	741	4,501	87,594
30	581	777	701	719	691	317	739	4,525	91,075

運営方針 工 実績資料

別表12（事業No.35）賛助会員・寄付者名簿

1 賛助会員（敬称略）

No.	年月日	会費（円）	氏 名
1	H30. 4. 2	10,000	匿名
2	H30. 12. 21	5,000	匿名
3	H31. 1. 7	20,000	匿名
合計		35,000	

2 寄付者名簿（敬称略）

No.	年月日	金額（物品）	氏 名	住 所
1	H30. 4. 10	14,600	長野地域退職者連合会	
2	H30. 5. 7	50,000	匿名	
3	H30. 5. 15	50,770,462	匿名	
4	H30. 5. 28	25,000	連合長野 長野地域協議会	長野市県町
5	H30. 5. 29	25,000	長野商工会議所	長野市七瀬中町
6	H30. 6. 6	25,000	株式会社八十二銀行 八十二ボランティアクラブ	長野市岡田
7	H30. 6. 18	25,000	長野県中小企業団体中央会 長野支部	長野市岡田

8	H30.6.27	車椅子 2 台	フジモト HD 株式会社	東京都千代田区 内神田
9	H30.6.29	25,000	株式会社 TOSYS	長野市北長池
10	H30.6.29	25,000	公益社団法人長野青年会議所	長野市七瀬中町
11	H30.7.10	20,000	長野モラロジー事務所	長野市平林
12	H30.7.23	27,275	匿名	
13	H30.7.26	中古スポットエアコン タ`スキン製 SUASSP1FS 1 台	匿名	
14	H30.10.2	未使用タオル 167 本	公益社団法人生命保険ファイナンシ ャルアドバイザー協会長野県協会	長野市南千歳
15	H30.10.3	中古血圧計 1 台	匿名	
16	H30.10.5	8,000	長野市ママさんバレーボールクラブ	長野市川中島町 上氷鉋
17	H30.10.24	14,400	長野地域退職者連合	
18	H30.10.31	未使用布団 2 組	匿名	
19	H30.11.8	10,753	NTT 労組退職者の会 長野地区協議会	長野市新田町
20	H30.11.13	車椅子 2 台	小さな親切運動長野支部	長野市岡田
21	H30.11.29	100,000	長野市ママさんバレーボール連盟	長野市吉田
22	H30.12.3	500,000	宗教法人真如苑信越本部	長野市吉田
23	H30.11.26	龍角散 らくらく服薬ゼリー70 袋	大岡ひじり学園	長野市大岡中牧
24	H30.11.28	10,000	匿名	
25	H30.12.20	30,000	匿名	
26	H31.1.15	未使用の石油ストーブ	匿名	
27	H31.1.30	6,500,000	角藤商事株式会社	長野市東鶴賀
28	H31.3.14	50,000	匿名	
29	H31.3.15	5,000	匿名	
合計件数(金額)			58,602,490	
うち物品受付(金額換算)			342,000	
うち現金受付(金額)			58,260,490	

別表 13 (事業No.37) 共同募金運動協力事業実績

項目 \ 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
目 標 額	58,467,000 円	58,347,000 円	57,990,000 円
実 績 額	58,261,925 円	56,474,349 円	55,621,989 円
達 成 率	99.65%	96.79%	95.91%

別表 14 (事業No.38) 共同募金配分金事業実績

共同募金における市社協にかかる配分を行った。

(募金年度：平成29年度、予算執行年度：平成30年度)

当初の計画		実績に基づく配分	
募金目標	58,347,000円	募金実績	56,474,349円
県への配分	25,483,000円	県への配分	25,483,000円
市への配分	32,864,000円	市への配分	※ 30,991,349円

※ うち 市社協配分額 23,948,936円
 うち 住自協配分額 7,042,413円

別表 15 (事業No.38) 法外援護事業実績

(金額：円)

年 度	行旅困難者旅費		行旅困難者医療費		簡易宿泊費		合計	
	人 員	金 額	人 員	金 額	人 員	金 額	人 員	金 額
平成23	80	60,390	3	35,068	0	0	83	95,458
平成24	74	91,110	0	0	0	0	74	91,110
平成25	44	48,010	1	5,332	0	0	45	53,342
平成26	23	40,580	0	0	0	0	23	40,580
平成27	40	50,280	0	0	0	0	40	50,280
平成28	30	40,060	0	0	0	0	30	40,060
平成29	25	24,770	0	0	0	0	25	24,770
平成30	28	185,730	0	0	0	0	28	185,730

※平成30年度から繰越金により対応するため、共同募金からの配分金の交付は一時休止している。

別表 16 (事業No.39) 日赤活動資金募集事業実績

項目 \ 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
目 標 額	57,348,000 円	56,922,000 円	57,546,000 円
実 績 額	52,679,077 円	50,728,223 円	49,842,608 円
達 成 率	91.86%	89.12%	86.61%

別表 17 (事業No.19、40、41、42、43、44) 事務受託団体一覧 (9 団体)

No.	団 体 名	代 表 者		会員・構成
1	長野市民生委員児童委員協議会	会 長	伊 藤 篤 志	875 人
2	長野市遺族会	会 長	横 田 久	2,027 人
3	日本赤十字社長野県支部長野市地区	地区長	加 藤 久 雄	—
4	長野県共同募金会長長野市共同募金委員会	会 長	小 林 治 晴	—
5	長野市赤十字奉仕団	委員長	和 田 充 子	4,004 人
6	長野市手をつなぐ育成会	会 長	塚 田 なおみ	258 人
7	長野地区保護司会	会 長	千 野 裕 文	152 人
8	長野地区更生保護女性会	会 長	山 崎 春 代	1,197 人
9	長野圏域介護保険事業者連絡協議会	会 長	増 山 幸 一	109 事業者

※平成 31 年 3 月 31 日現在

事業理念 2

その人らしい生き方や暮らしを尊重した支援の実施

運営方針 ア 実績資料

別表 18 介護等実習生の受入事業実績

学校名等	延べ人数	学校名等	延べ人数
長野赤十字看護学校	77	信州医療福祉専門学校	63
三幸福祉カレッジ	1	長野女子短期大学	24
長野社会福祉専門学校	30	信濃の星	62
長野県社会福祉協議会	149	上田女子短期大学	2
長野ビジネスアカデミー	5		
合 計			413(373)

※ () 内数字は、平成 29 年度

別表 19 (事業No.54) 居宅介護支援事業実績

1 体制

事業所名	介護支援専門員数	車両台数	備 考
ふれあい介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	6	6	外兼務 1 人、特事
三陽介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	4	3	外兼務 1 人、特事

事業所名	介護支援専門員数	車両台数	備考
吉田介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	4	3	外兼務1人、特事
安茂里介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	6	5	外兼務1人、特事
篠ノ井介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	5	5	外兼務1人、特事
豊野介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	4	3	外兼務1人、特事
鬼無里介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	2	1	外兼務1人
大岡介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	2	1	外兼務1人
信州新町介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	1	1	
中条介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	3	2	特事
合 計	45 (49)	30 (32)	

※（ ）内数字は、平成29年度

※常勤職員数は平成31年3月31日現在の人数（以下同様）

※備考欄「特事」は特定事業所

2 実績

事業所名	利用（居宅サービス計画作成）件数		
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
ふれあい	1,905	2,417	2,258
城山	1,367	—	—
三陽	1,131	1,453	1,411
吉田	1,605	1,736	1,698
安茂里	2,928	3,008	2,703
篠ノ井	2,495	2,176	1,941
豊野	1,764	1,713	1,744
鬼無里	938	792	667
大岡	541	516	531
信州新町	427	326	329
中条	1,075	945	780
合 計	16,176	15,082	14,062

*城山はH29.3.31をもって、ふれあい及び三陽へ統合・廃止

3 要介護認定調査業務実績

事業所名	認定調査件数		
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
ふれあい	41	18	22
城山	30	—	—
三陽	28	23	19
吉田	26	17	21
安茂里	68	26	20
篠ノ井	70	17	20
豊野	36	11	8
鬼無里	14	4	5
信州新町	19	8	6
中条	27	10	2
合 計	359	134	123

*城山はH29.3.31をもって、ふれあい及び三陽へ統合・廃止

別表 20 (事業No.54) 介護予防支援業務の受託 (介護給付) サービス事業実績

居宅介護支援事業所名	利用 (介護予防サービス計画作成) 件数		
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
ふれあい	315	172	161
城山	221	—	—
三陽	91	70	79
吉田	56	24	20
安茂里	449	410	297
篠ノ井	583	282	281
豊野	54	16	59
鬼無里	287	265	304
大岡	570	551	515
信州新町	178	115	87
中条	389	345	330
合 計	3,193	2,250	2,133

*城山はH29.3.31をもって、ふれあい及び三陽へ統合・廃止

別表 21 (事業No.55) 訪問介護事業実績

1 体制

事業所名	常勤職員数	車両台数	備考
ふれあい介護サービスセンター 訪問介護事業所	6	4	外兼務 8 人、特事
東長野介護サービスセンター 訪問介護事業所	10	9	外兼務 6 人、特事
安茂里介護サービスセンター 訪問介護事業所	5	7	特事
篠ノ井介護サービスセンター 訪問介護事業所	5	6	特事
戸隠介護サービスセンター 訪問介護事業所	4	4	外兼務 3 人、特事
戸隠介護サービスセンター 鬼無里サテライト訪問介護事業所	1	2	外兼務 3 人、特事
信州新町介護サービスセンター 訪問介護事業所	3	5	外兼務 1 人、特事
中条介護サービスセンター 訪問介護事業所	1	2	外兼務 1 人
合計	35 (42)	39 (44)	

※鬼無里は H30. 10. 1 より戸隠のサテライトとした

※ () 内数字は、平成 29 年度

※備考欄「特事」は特定事業所

2 訪問介護実績

事業所名	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
ふれあい	439	6,480	408	5,825	262	3,820
東長野	742	14,637	658	12,707	630	11,044
安茂里	720	11,026	655	8,706	488	5,922
篠ノ井	674	10,511	583	8,242	419	6,226
戸 隠	339	6,741	277	5,732	363	6,663
鬼無里	239	4,474	161	2,293	0	0
信州新町	399	4,810	420	4,605	372	3,896
中 条	206	3,025	260	3,020	255	2,985
合計	3,758	61,704	3,422	51,130	2,789	40,556

※鬼無里は H30. 10. 1 より戸隠のサテライト化。H30. 9. 30 までは介護予防訪問介護相当サービスのみ実施。

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

3 介護予防訪問介護実績（経過措置対象者）

事業所名	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
ふれあい	255	1,159	5	33	—	—
東長野	429	2,414	35	212	—	—
安茂里	318	1,782	33	196	—	—
篠ノ井	267	1,714	25	155	—	—
戸 隠	42	275	2	14	—	—
鬼無里	28	163	5	19	—	—
信州新町	171	781	9	35	—	—
中 条	156	771	18	84	—	—
合 計	1,666	9,059	132	748	—	—

※H30.4.1より介護予防相当サービスに完全移行

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

4 介護予防訪問介護相当サービス実績

事業所名	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
ふれあい	68	339	240	1,209	335	1,566
東長野	50	226	346	1,799	229	1,256
安茂里	49	315	257	1,688	284	1,763
篠ノ井	52	354	237	1,615	286	1,692
戸 隠	11	56	69	447	19	116
鬼無里	0	0	11	46	49	280
信州新町	38	165	160	731	193	901
中 条	17	91	93	421	86	456
合 計	285	1,546	1,413	7,956	1,481	8,030

※鬼無里はH30.10.1より戸隠のサテライトとしたため、H30.9.30までの実績

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

※平成28年10月1日から新総合事業開始に伴い、サービス提供開始

別表 22 (事業No.56) 通所介護事業実績

1 体制

事業所名	常勤職員数	車両台数	備考
三陽介護サービスセンター 通所介護事業所	8	5	
柳町介護サービスセンター 通所介護事業所	7	6	外兼務 1 人
吉田介護サービスセンター 通所介護事業所	9	5	外兼務 1 人
安茂里介護サービスセンター 通所介護事業所	8	7	外兼務 2 人
篠ノ井介護サービスセンター 通所介護事業所	7	6	
氷鉋介護サービスセンター 通所介護事業所	8	5	
戸隠介護サービスセンター 通所介護事業所	3	6	外兼務 2 人
鬼無里介護サービスセンター 通所介護事業所	5	7	外兼務 2 人
大岡介護サービスセンター 通所介護事業所	5	4	外兼務 4 人
中条介護サービスセンター 通所介護事業所	3	8	外兼務 1 人
合 計	63 (71)	59 (58)	

※ () 内数字は、平成 29 年度

2 通所介護事業実績

事業所名	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
三 陽	806	6,459	841	6,994	765	6,467
柳 町	856	7,007	1,047	8,289	1001	7,643
芋 井	—	—	—	—	—	—
吉 田	954	8,111	961	8,340	932	8,045
安茂里	1,047	7,569	1,222	9,135	1317	10,337
篠ノ井	746	5,882	791	6,176	740	5,525
氷 鉋	636	5,418	671	5,689	663	5,506
鬼無里	594	4,629	445	3,376	361	2,743
中 条	629	4,952	643	4,495	608	3,890
合 計	6,268	50,027	6,621	52,494	6387	50,156

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

※芋井は、柳町介護サービスセンター通所介護事業所のサテライトで 28 年度から休止中

3 地域密着型通所介護実績

施設名	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
戸隠	367	2,940	431	3,752	426	4,000
大岡	328	2,269	313	2,338	330	2,435
合 計	695	5,209	744	6,090	756	6,435

※平成 28 年度から開始

4 介護予防通所介護実績（経過措置対象者）

事業所名	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
三 陽	77	506	8	53	—	—
柳 町	212	1,112	11	59	—	—
芋 井	—	—	—	—	—	—
吉 田	195	1,175	3	16	—	—
安茂里	366	1,743	35	189	—	—
篠ノ井	251	1,399	29	169	—	—
氷 鮑	143	928	11	70	—	—
戸 隠	78	432	5	29	—	—
鬼無里	101	580	8	53	—	—
大 岡	325	1,406	25	108	—	—
中 条	314	1,812	35	198	—	—
合 計	2,062	11,093	170	944	—	—

※H30. 4. 1 より介護予防相当サービスに完全移行

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

※芋井は、柳町介護サービスセンター通所介護事業所のサテライトで 28 年度から休止中

5 介護予防通所介護相当サービス実績

事業所名	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
三 陽	25	146	108	700	—	—
柳 町	59	315	332	1,848	300	1,720
芋 井	—	—	—	—	—	—
吉 田	38	183	255	1414	229	1,429
安茂里	73	314	386	1882	330	1,770
篠ノ井	56	335	279	1818	285	1,733
氷 鮑	32	193	197	1067	298	1,780

事業所名	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
戸 隠	13	58	91	515	103	539
鬼無里	14	74	116	545	141	766
大 岡	91	344	348	1377	321	1,314
中 条	43	213	317	1557	388	1,922
合 計	444	2,175	2,429	12,723	2,395	12,973

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

※芋井は、柳町介護サービスセンター通所介護事業所のサテライトで 28 年度から休止中

※平成 28 年 10 月 1 日から新総合事業開始に伴い、サービス提供開始

※三陽は、H30.3.31 をもってサービスを廃止した。

別表 23 (事業No.57) 短期入所生活介護事業実績

1 体制

施設名	利用定員	常勤職員数	車両台数	備考
鬼無里介護サービスセンター やすらぎ	8	2	1	外兼務 4 人
大岡介護サービスセンター ことぶき荘	12	3	1	外兼務 6 人
合 計	20 (20)	5 (15)	2 (2)	

※ () 内数字は、平成 29 年度

2 短期入所生活介護実績

施設名	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
鬼無里やすらぎ	212	2,325	171	2,136	181	2,321
大岡ことぶき荘	215	3,241	206	2,713	223	2,666
合 計	427	5,566	377	4,849	406	4,987

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

3 介護予防短期入所生活介護実績

施設名	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
鬼無里やすらぎ	3	9	—	—	3	7
大岡ことぶき荘	3	30	19	63	3	10
合 計	6	39	19	63	6	17

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

別表 24 (事業No.59) 認知症対応型共同生活介護事業実績

1 体制

施設名	利用定員	常勤職員数	備考
鬼無里介護サービスセンター なかよしハウス	6 (6)	3 (3)	

※ () 内数字は、平成 29 年度

2 実績

施設名	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
鬼無里なかよしハウス	81	2,406	73	2,096	73	2,133

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

別表 25 (事業No.61、62、63) 障がい福祉サービス事業実績

1 居宅介護・重度訪問介護・同行援護サービス実績

事業所名	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
ふれあい	319	2,975	301	3,041	223	2,103
東長野	471	5,879	493	5,201	560	6,638
安茂里	249	5,649	199	3,572	165	2,914
篠ノ井	325	5,262	316	4,815	354	3,471
戸隠	136	2,608	135	2,519	158	2,267
鬼無里	59	454	76	662	34	327
信州新町	58	611	70	838	77	678
中条	50	1,149	24	1,124	28	1,483
合 計	1,667	24,617	1,614	21,772	1,599	19,881

※利用人数は、3つのサービスにおける月毎の実利用人数合算数値。

別表 26 (事業No.64) 長野市移動支援サービス事業実績

移動支援サービス	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
	88	383	69	431	81	495

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

別表 27 (事業No.65) 高齢者生活福祉センター受託事業実績

施設名	定員	項目	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
鬼無里高齢者生活福祉センター (通称：やすらぎ)	19人	実利用人数	13	13	13
		月平均利用人数	8.9	5.7	6.3
		延べ利用日数	2,897	1,895	2,267
大岡高齢者生活福祉センター (通称：ことぶき荘)	9人	実利用人数	3	3	5
		月平均利用人数	1.1	2	2.2
		延べ利用日数	324	658	684
中条高齢者生活福祉センター (通称：いこいハウス)	6人	実利用人数	6	6	9
		月平均利用人数	6.0	6	6.3
		延べ利用日数	2,064	2,052	2,237

別表 28 (事業No.66) 高齢者共同生活支援施設受託事業実績

施設名	定員	項目	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
戸隠栃原高齢者共同生活支援 施設 (通称：ひまわり1号)	6人	実利用人数	12	8	11
		月平均利用人数	2.8	3.1	2.6
		延べ利用日数	833	874	811
		食事提供食数	2,114	2,294	2,042
戸隠豊岡高齢者共同生活支援 施設 (通称：ひまわり2号)	8人	実利用人数	8	9	11
		月平均利用人数	3.3	3.9	4.4
		延べ利用日数	956	1,113	1,515
		食事提供食数	2,541	2,901	3,285

運営方針 ウ 実績資料

別表 29 (事業 No70) 成年後見制度利用支援相談窓口開設事業実績

1 相談件数

年度別	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
件数	7,025	7,030	8,091

2 法人後見事業受任件数

		平成 28 年度			平成 29 年度			平成 30 年度		
		新規	終了	累計	新規	終了	累計	新規	終了	累計
法定	後見	19	4	36	7	0	43	9	6	46
	保佐	3	2	9	7	1	15	6	3	18
	補助	7	0	9	0	1	8	3	1	10

	計	29	6	54	14	2	66	18	10	74
任意後見		2	0	2	3	0	5	1	0	6
合計		31	6	56	17	2	71	19	10	80

別表 30（事業 No71）日常生活自立支援事業実績

1 実績

項目		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
相談件数	本部	11,869	12,463	11,814
	みなみ出張所	7,515	7,219	7,894
	合計	19,384	19,682	19,708
契約件数	本部	21	10	12
	みなみ出張所	21	7	4
	合計	42	17	16
事業開始からの延べ契約件数 ※		432	450	466

※平成 11 年 10 月より事業開始

2 契約件数内訳

年度 対象区分	平成 28 年度			平成 29 年度			平成 30 年度		
	新規	解約	累計	新規	解約	累計	新規	解約	累計
認知症	10	11	56	3	10	49	4	14	39
知的障害	9	4	80	8	4	84	4	9	79
精神障害	23	10	82	7	8	81	8	9	80
その他	0	3	4	0	2	2	0	0	2
合計	42	28	222	18	24	216	16	32	200

別表 31（事業No.72）暮らしのあんしんサービス事業実績（新規追加）

1 相談件数

年度別	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
相談件数	1,463	1,490	1,750

2 契約件数内訳

年度 契約内容	平成 28 年度			平成 29 年度			平成 30 年度		
	新規	解約	累計	新規	解約	累計	新規	解約	累計
金銭管理	6	9	33	2	5	30	7	3	34
財産保全	3	2	9	0	1	8	1	0	9
合計	9	11	42	2	6	38	8	3	43

別表 32 (事業No.73) 生活福祉資金貸付事業実績

(金額：円)

資金種別	年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
総合支援資金		0	0	0	0	0	0
福祉資金		14	1,051,000	12	1,042,000	12	3,331,000
教育支援資金		4	2,053,000	9	8,528,000	10	3,051,000
不動産担保型生活資金		0	0	0	0	1	7,500,000
臨時特例つなぎ資金		0	0	0	0	0	0
合 計		18	3,104,000	21	9,570,000	23	13,882,000

別表 33 (事業No.74) 助け合い資金貸付事業実績

(金額：円)

年度	貸付額		前期末未償還額		当期償還金額		不納欠損処理額		未償還残額	
	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
平成 13 年度	1	50,000	1	46,500	0	0	0	0	1	46,500
平成 14 年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成 15 年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成 16 年度	1	50,000	1	33,000	1	7,000	0	0	1	26,000
平成 17 年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成 18 年度	1	50,000	1	10,000	1	6,000	0	0	1	4,000
平成 19 年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成 20 年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成 21 年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成 22 年度	2	200,000	1	52,000	1	25,000	0	0	1	27,000
平成 23 年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成 24 年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成 25 年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成 26 年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	5	350,000	4	141,500	3	38,000	0	0	4	103,500

※生活福祉資金貸付事業の対象要件が緩和・拡大されたことにより、平成 27 年度以降貸付停止。

別表 34 (事業No.75、76) きぼう相談事業及び法律相談事業実績

1 相談件数

実 施 状 況			年 度		
			平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
きぼう相談	一般相談	本部 毎週 火・金曜日 9:00 ~ 16:00	1,192	1,155	1,344
	一般相談	篠ノ井 毎週 月曜日 9:00 ~ 16:00	428	454	496
	合 計		1,620	1,609	1,840
専門相談	法律相談	本部 毎月 第3金曜日 13:00 ~ 15:00	37	36	38

2 きぼう相談内容内訳

内 容	住まい 暮らし・	健康	人間関係	法律	問合せ 紹介・	よろず	相談所への 問合せ等	その他	合計
平成 28 年度	96	130	250	115	100	614	253	62	1,620
平成 29 年度	57	106	177	90	34	946	188	11	1,609
平成 30 年度	82	58	167	107	25	1179	208	14	1,840

別表 35 (事業No.77) 長野市生活就労支援センター「まいさぽ長野市」運営事業

1 自立相談支援事業

項 目	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
相談件数 (のべ)	6,562	7,085	7,712
相談者数 (実数)	942	966	940
新規相談者数 (実数)	703	681	610
就労者数 (実数)	107	122	123

※相談者数は関係機関も含む。

2 家計相談支援事業

項 目	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
相談件数 (のべ)	802	917	1,350
相談者数 (実数)	101	123	147
事業利用者数 (実数)	11	33	41
新規利用申込数 (実数)	8	23	36

※相談者数は関係機関も含む。

3 就労訓練支援事業

項目	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
相談・助言・開拓等 件数 (のべ)	66	282	326

※平成 28 年度から実施。

別表 36 (事業No.78) ふれあいデイケア事業実績

項目	実施回数等	内容
煎茶デイケア	月 1 回 のべ 8 回	参加者 11 人 のべ 53 人
ちぎり絵デイケア	月 2 回 のべ 20 回	〃 5 人 のべ 57 人
書道デイケア	週 1 回 のべ 47 回	〃 13 人 のべ 220 人
居場所デイケア	月 2 回 のべ 20 回	参加者 7 人 のべ 79 人
ふれあい交流会	平成 30 年 8 月 8 日(水) 平成 30 年 12 月 5 日(水) 平成 30 年 12 月 11 日(火) 平成 31 年 1 月 9 日(水)	デイケア参加メンバーが七夕、クリスマス会など季節のの行事等でふれあい交流を図った。
研修会の開催	平成 30 年 9 月 11 日(水) 平成 30 年 9 月 26 日(水) 平成 30 年 10 月 29 日(月)	煎茶、ちぎり絵、書道のデイケアで外出研修交流を図った。
作品の出展	平成 30 年 6 月、10 月、 12 月、平成 31 年 1 月	ふれあい書道展 (主催：全国書画展覧会運営委員会)、市民書道展 (主催：長野市民新聞社)、ちぎり絵展への作品出展

別表 37 (事業No.79) 地域包括支援センター (指定介護予防支援事業、包括的支援事業、介護予防教室事業及び介護者教室事業) 実績

1 体制

事業所名	常勤職員数	職員内訳		車両台数
地域包括支援センター 安茂里	5 (5)	介護支援専門員 [うち主任介護支援専門員]	2 [2]	3 (3)
		保健員 (看護師)	1	
		社会福祉員 (社会福祉士)	2	
地域包括支援センター 豊野サブセンター	3 (3)	介護支援専門員 [うち主任介護支援専門員]	1 [1]	2 (2)
		保健員 (看護師)	1	
		社会福祉員 (社会福祉士)	1	
地域包括支援センター 吉田	4 (4)	介護支援専門員 [うち主任介護支援専門員]	2 [2]	3 (2)
		保健員 (看護師)	1	
		社会福祉員 (社会福祉士)	1	

※ () 内数字は、平成 29 年度

2 実績

ア 相談件数

事業所名	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
安茂里	844	1,372	1,334
豊野サブ	889	789	711
吉田	1,193	1,439	1,440
合 計	2,926	3,600	3,485

相談の内容

項 目	平成 28 年度			平成 29 年度			平成 30 年度		
	安茂里	豊野	吉田	安茂里	豊野	吉田	安茂里	豊野	吉田
介護保険関係	596	512	767	863	459	1,256	868	424	1,065
その他在宅福祉サービス	167	243	302	208	211	102	210	185	136
医療に関すること	68	221	218	155	204	96	102	205	266
施設・住まいに関する こと	48	116	124	119	109	42	63	96	68
高齢者虐待	6	13	18	7	9	4	21	10	8
成年後見制度	9	6	27	13	5	4	10	1	7
消費者被害	1	2	0	0	3	0	11	1	0
苦情対応・調整	7	6	0	16	0	0	6	0	1
その他	120	59	17	238	56	48	214	51	249
合 計	1,022	1,178	1,473	1,619	1,056	1,552	1,505	973	1,800

※1件の相談で内容が多岐にわたる場合、それぞれの項目でカウントしているため、合計は前表の相談件数と一致しない。

イ 高齢者実態把握人数

事業所名	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
安茂里	197	203	215
豊野サブ	172	168	111
吉田	293	157	143
合 計	662	528	469

ウ 介護予防サービス計画書作成件数 ※居宅介護支援事業所へ業務委託分は除く

事業所名	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
安茂里	2,296	1,029	1,024
豊野サブ	846	633	434
吉田	1,785	941	947
合 計	4,927	2,603	2,405

エ 介護予防ケアマネジメント作成件数

※居宅介護支援事業所へ業務委託分は除く

事業所名	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
安茂里	238	1,443	1,514
豊野サブ	53	440	346
吉田	339	812	805
合 計	630	2,695	2,665

オ 地域包括ケア推進ネットワーク会議

事業所名	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
安茂里	1	2	1
豊野サブ	3	2	2
吉田	2	2	2
合 計	6	6	5

カ 介護者教室

事業所名		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
安茂里	開催回数	3	3	3
	参加人数	42	61	75
豊野サブ	開催回数	3	3	3
	参加人数	63	54	72
吉田	開催回数	3	4	3
	参加人数	53	95	83
合計	開催回数	9	10	9
	参加人数	158	210	230

キ 介護予防教室

事業所名		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
安茂里	開催回数	19	20	19
	参加人数	350	331	500
豊野サブ	開催回数	11	9	9
	参加人数	269	135	114
吉田	開催回数	9	9	9
	参加人数	258	201	463
合計	開催回数	39	38	37
	参加人数	877	667	1,077

別表 38 (事業No.80) 在宅介護支援センター (在宅介護に関する総合相談事業、高齢者実態把握調査事業、介護予防教室事業及び介護者教室事業) 事業実績

1 体制

事業所名	常勤職員数	車両台数	備考
鬼無里在宅介護支援センター	3	1	兼務3人
大岡在宅介護支援センター	3	1	兼務3人
合計	6 (4)	2 (0)	

※ () 内数字は、平成 29 年度

2 実績

ア 相談件数

事業所名	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
鬼無里	597	550	419
大岡	281	432	385
合計	878	982	804

相談の内容

項目	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	鬼無里	大岡	鬼無里	大岡	鬼無里	大岡
介護保険関係	178	122	231	175	173	137
その他在宅福祉サービス	237	60	164	67	259	66
医療に関すること	192	96	15	243	118	232
施設・住まいに関すること	113	29	17	33	100	10
高齢者虐待	0	5	0	0	0	0
成年後見制度	0	0	1	0	1	0
消費者被害	13	9	3	2	1	10
苦情対応・調整	0	1	0	1	0	6
その他	100	15	211	170	64	135
合計	833	337	642	691	716	596

※ 1 件の相談で内容が多岐にわたる場合、それぞれの項目でカウントしているため、合計は前表の相談件数と一致しない。

イ 高齢者実態把握件数

事業所名	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
鬼無里	324	332	173
大岡	396	367	360
合計	720	699	533

ウ 介護者教室

事業所名		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
鬼無里	開催回数	3	3	3
	参加人数	43	35	47
大岡	開催回数	3	3	2
	参加人数	35	37	22
合計	開催回数	6	6	5
	参加人数	78	72	69

エ 介護予防教室

事業所名		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
鬼無里	開催回数	9	12	10
	参加人数	135	140	126
大岡	開催回数	9	9	9
	参加人数	130	122	118
合計	開催回数	18	21	19
	参加人数	265	262	244

事業理念 3

状況に応じた柔軟で迅速な取組の実施

運営方針 ア 実績資料

別表 39 (事業No.82) 苦情受付件数

苦 情 の 内 容	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
職員の接遇（態度）に関すること	14	8	7
公用車の運転（駐車）方法に関すること	13	5	6
提供しているサービスに関すること	20	6	12
施設（設備・利用）に関すること	1	1	0
その他	7	5	3
合 計	55	25	28

※その他は介護サービスの契約に関すること、電話の自動応答メッセージに関することなど

別表40（事業№.86）県内社協職員災害初動時先遣チーム（DSAT）への参加

1 メンバー

- (1) 正規メンバー 小野 貴規
- (2) 交代メンバー 松岡 伸樹、上平 祥平、村田 智徳

2 活動等の実績（メンバー以外が参加した研修等を含む）

月日	活動等の内容	参加者	備考
平成 30 年 7 月 22 日 ～7 月 24 日	平成 30 年 7 月豪雨ボランティアバスパックへの参加 県社協の呼びかけに応じ、岡山県倉敷市へ職員 1 名が参加した。	小野	
平成 30 年 7 月 31 日 ～8 月 5 日	平成 30 年 7 月豪雨被災地社協への応援職員派遣 県社協の要請に基づき、広島県三原市社協へ、災害ボランティアセンター運営のため職員 1 名を派遣した。	小野	
平成 30 年 10 月 11 日	災害ボランティア図上訓練への参加 主催：県社協、会場：松本大学	小野、 松岡	
平成 30 年 10 月 21 日	災害ボランティアセンター開設・運営訓練への参加 主催：長野県、会場：塩尻消防署	小野ほか 1 名	県総合防 災訓練の 一環
平成 31 年 2 月 1 日	社協災害ボランティアセンター運営研修への参加 主催：県社協、会場：松本市浅間温泉文化センター	小野、 松岡 ほか 3 名	